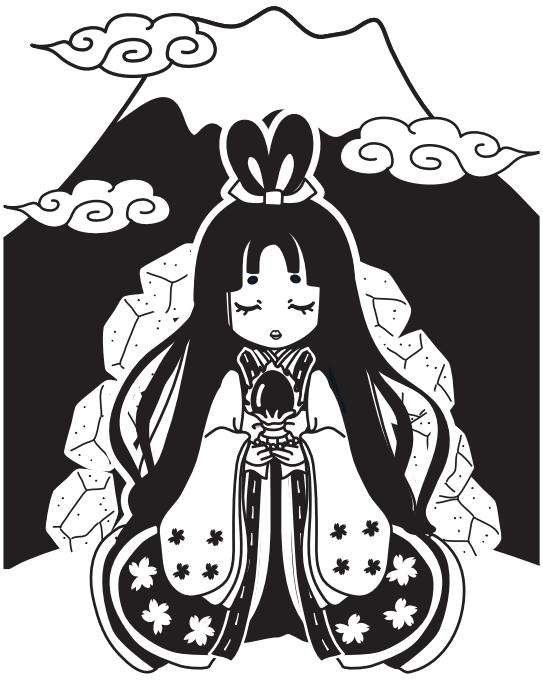
館報

第36号
令和2年度

2021年8月

富士山かぐや姫ミュージアム
Mt.Fuji and Princess Kaguya Museum



ふじかぐちゃん

富士市行政資料登録番号　R3-16

ごあいさつ

～定説覆る～長唄「松の翁」は松永家での創作にあらず！

今春のことです。江戸時代から昭和初期にかけて沼津市原（東海道原宿）の素封家として名を馳せてきた植松本家は余人の知るところですが、同家の第十四世・植松靖博氏が同家に伝わる文書を何点か携えて来館されました。因みに植松家には珍しい園芸植物のコレクションや盆栽を主体とする「帯笑園」と呼ばれる庭園があり、庭の中心には「望嶽亭」と命名された茶室が備えられており、東海道を往来する諸侯・貴人はもとより、文人墨客から庶民に至るまで庭園の素晴らしさを称賛しています。

往時の植松家の庭園（帯笑園）　帯笑園パンフレットから転載

植松氏がお持ちになった文書ですが、大変興味深いものでした。そこには幕末から明治前期にかけて長唄三味線方として名を馳せた三代目杵屋正次郎が植松家を訪れ、同家の主人や「帯笑園」に感動し、長唄界では御祝儀曲として現在でもよく上演されている「松の翁」を創作し、併せてその経緯も正次郎の直筆で記されておりました。詳細については、植松靖博氏が５月 11 日の沼津朝日新聞に寄稿されており、毎日新聞の電子版（６月７日）でも紹介されており割愛しますが、「新曲　松の翁」と命名された唄本の奥書を紹介させていただきます。なお、前段の「松の翁」歌詞の部分は広く知られているので省略しますが、歌詞の末尾に明治十丑年水無月中旬とあり、続けて以下の記載がありました。これにより、長唄「松の翁」が植松家で作られたことが判明したわけです。

茲ニ高名富嶽ニ勝レル植松氏ハ　和漢ノ草木ヲ常ニ愛シ　種類夛ク故ニ高位名家ノ諸君子杖ヲ止メテ　詩歌書画連諧繁茂シテ　算ルニ暇非ス　幸旅泊中　我モ高名君子ノ末ニ入ニ叓ヲ希望シ　主人ニ乞テ拙キ筆ニ東哥ヲ逑三弦ノ節附シテ其序ニ　園中ノ奇木珍花ノ銘ヲ顕シ彫シテ　既ニ小集トナリヌ　実難有　皇国ニ草樹ヲ楽ム四方ノ諸君子御来輦ノフシノ手ニフレテ囃ノ種ト産ニ玉ハレ

皇国東弦教通師劇場囃子取締役頭三世

杵屋正治朗謹□

ところで、当ミュージアムの所在する広見公園内の歴史ゾーンには、移築復原された横沢古墳や、復元された古代の高床倉庫や竪穴住居と共に、県指定文化財の旧稲垣家住宅をはじめとした文化財建造物８棟（内６棟は市指定）が移築復原され、県内屈指の民家園として親しまれておりますが、中でも、武家風様式を取り入れた格式高い書院と薬医門で構成された市指定文化財・旧松永家住宅はひと際目を惹きます。

実は、この文書が発見されるまでは、「松の翁」はこの松永家で創作されたとされ、長唄界では定説となっておりました。

松永家は江戸時代より市内平垣に居を構え、幕末の天保７年（1836）には旗本日向小伝太から陣屋詰役人として知行地の差配を命じられ、財力を蓄えていきます。邸内には小塚陣屋が併設され、富士郡下屈指の豪農・素封家に成長し、慶應元年（1865）の江戸幕府第 14 代将軍・徳川家茂の上洛や、明治元年（1868）の明治天皇東京行幸の際には小休所に指定されております。松永家の豪邸には「平安亭消日園」と名付けられた庭園があり、富士山を借景とした名園として知られており、大正９年には渋沢栄一も松永家に宿泊していることからも、各界の著名人が度々訪れていたことは想像に難くありません。

明治時代の松永家の庭園（平安亭消日園）

松永家も植松家も共に名字に「松」の一字が使われており、且つ邸宅は共に東海道に面しており、更に共に遠く富士山を仰ぎながら名園を愛でる事ができる環境を有しています。加えて明治時代には植松家と松永家は姻戚関係にあることから、三代目杵屋正次郎の没後、どこかで情報が錯綜し、このような謬錯が生じたのでしょうか。

実は、いつの日か旧松永家住宅を会場に「松の翁」が上演できればと、数年前から関係者に声掛けをしてきたところでしたが、今回の発見を機に、この構想は改めて見直していきたいと思います。

令和３年８月

富士山かぐや姫ミュージアム

館長　　木ノ内　義昭

目次

ごあいさつ　～定説覆る～長唄「松の翁」は松永家での創作にあらず！

令和２年度　年報と概要

１　令和２年度　事業報告

(1) 展示会 ……4

(2) 教室・講座・イベント・調査……8

(3) 学校等への参加協力事業 ……14

(4) 富士市立博物館ボランティアの活動 ……16

(5) ふじかぐミュージアムニュース ……16

２　令和２年度　施策・利用状況

(1) 教育行政の基本方針と施策……18

(2) 予算・決算の概要 ……18

(3) 博物館協議会 ……19

(4) 利用状況 ……20

３　富士山かぐや姫ミュージアムの概要

(1) 施設の概要 ……22

(2) 事業の概要 ……23

(3) 資料及び図書収集状況……26

(4) 富士市立博物館条例・規則……28

４　展示会・刊行物一覧

(1) 展示会一覧 ……30

(2) 刊行物一覧 ……35

利用案内 ……37

令和２年度
年報と概要

Annual Report 2020

1　令和２年度　事業報告

（1） 展示会

自主展観事業		
種別	春のテーマ展	夏のテーマ展
名称	揺する！富士市のお天王さん	富士山の女神　かぐや姫
会期	2020/3/20（金祝）～ 6/21（日）【77 日間】	2020/7/11（土）～ 9/6（日）【51 日間】
内容	富士市内では多くの地区で「お天王さん」というお祭りを実施している。市内で最も大きな祭典「吉原祇園祭」もその一つである。各地区、町内によってお天王さんの内容は多種多様で、共通点や相違点、伝播の様子などがわかる。そもそもお天王さんとは、病気を払う力を持つとされる牛頭天王という仏教上の神を祀る祭礼だが、近年はその由来の希薄化とともに継承者が不足している。そこで本展示会では、今後の各地域における伝承の意味と地域性を紹介した。 ※感染症対策に伴う休館 4/9 ～ 5/17【実質 53 日間】	富士山周辺には古くからかぐや姫伝説が伝えられている。これは、かぐや姫が富士山に帰り、富士山の神様だったというストーリーで、富士山に対する独特な信仰の形が富士山南麓を中心に残されている。 そこで、本展覧会では、富士山に帰るかぐや姫の物語をもとに、伝説にまつわる史跡の紹介や関連する史料を展示し、当地域の富士山信仰の形を紹介した。また、このかぐや姫伝説が記された「富士山縁起」を代々受け継ぎ、富士山を祀る富士郡下方 (富士市域) の 5 つの浅間神社「下方五社」の別当だった密教寺院「富士山東泉院」について紹介した。
会場	展示室 5	展示室 5
対象	一般	一般
来場者数	大人　4,920 人　小人　756 人 合計　5,676 人（1 日平均 107 人）	大人　3,428 人　小人　1，251 人 合計　4,679 人（1 日平均 92 人）
関連イベント	・ギャラリートーク（無料） 日時：3/21(土) ・ 4/11(土) ・ 4/25(土) ・ 5/2(土) ・ 5/9(土) ・ 5/17(日) ・ 5/23(土) ・ 6/7(日) 各日 11 時～ /14 時～　感染症対策のため全て中止 ・フィールドワーク「歩いて発見！吉原祇園祭」 開催日：6/14（日）　14：00 ～ 16：00 場所：吉原商店街周辺 参加料：無料　　感染症対策のため中止 【新型コロナウイルス感染症対策に伴う企画】 ・「おうちでふじかぐミュージアム」 YouTube お天王さん映像配信（4/19 ～ 5/31）：再生数 190 回 ・おうちで吉原祇園祭実行委員会「おうちで吉原祇園祭」 Instagram ライブ配信（6/14）　現地ゲスト解説 リアルタイム視聴者約 230 人　再生数 446 回(2020/7/16 時点)	・ギャラリートーク（無料） 日時:7/11（土）・7/25（土）・8/9（日）・8/18（日）・8/30（日）・9/5（土）　各日 11 時～ /14 時～ 参加者：28 人（全 6 回） ・「おうちでふじかぐミュージアム」 YouTube 見どころ解説（7/11 ～ 9/17）：再生数 140 回

揺する！富士市のお天王さん　展示風景

富士山の女神かぐや姫　ギャラリートーク

自主展観事業		
種別	秋のテーマ展	富士・沼津・三島三市博物館共同企画展
名称	富士参詣曼荼羅の世界－松栄寺本を中心に－	採る・捕る・獲る－富士・沼津・三島の狩猟と採集－
会期	2020/9/19（土）～ 10/18（日）【26 日間】	2020/10/31（土）～ 2021/1/24（日）【55 日間】
内容	住友財団の助成を受けて修理をおこなった当館寄託資料の常滑市松栄寺に伝わる富士参詣曼荼羅をお披露目するとともに、なぜ富士山からは遠い常滑市に富士参詣曼荼羅が伝わったのか、西方からの富士山信仰の姿を浮き彫りにした。 松栄寺の富士参詣曼荼羅の修理前のレプリカを一緒に並べ、修理の工程も紹介した。	富士・沼津・三島三市博物館連絡協議会の主催で、三市共同で一つの展示会を完成させ、各館を巡回した。 富士山・愛鷹山・箱根山、富士川・狩野川・黄瀬川、浮島沼、駿河湾といったゆたかな自然環境で行われてきた狩猟・採集の道具や暮らしぶりについて紹介・展示した。 スタートは沼津市歴史民俗資料館　2020 年 7/4（土）～ 8/30（日） ↓巡回 三島市郷土資料館　2020 年 9/5（土）～ 10/18（日） ↓巡回 当館　※消火設備工事に伴う本館休館⇒ 12/14（月）～ 1/4（月）
会場	展示室５	展示室５
対象	一般	一般
来場者数	大人　2,684 人　小人　982 人 合計　3,666 人（1 日平均 141 人）	大人　4,481 人　小人　1,898 人 合計　6,379 人（1 日平均 116 人）
関連イベント	・学芸員によるミュージアム解説（無料） 日時：9/21（月祝）・9/22（火祝）・10/10（土） 各日 13 時 30 分～ 場所：講座室 参加者：26 人（全３回、各回先着 10 名） ・「おうちでふじかぐミュージアム」 YouTube 見どころ解説（9/18 ～ 12/22）：再生数 90 回	・「おうちでふじかぐミュージアム」 YouTube 見どころ解説（10/30 ～ 1/26）：再生数 86 回

自主展観事業	
種別	新収蔵品展
名称	新収蔵品　富士山コレクション展
会期	2021/2/6（土）～　5/30（日）【95 日間】
内容	令和元年７月、広島市在住の武田弘氏から、60 年以上の歳月をかけて収集された自身の富士山関係のコレクションを当館へ一括寄贈したいとのお話をいただいた。ご自身がテニスに親しんでこられたこともあって、武田氏は地元のテニス強豪高校へテニス留学でやってくる高校生に下宿を提供し、長年にわたりお世話をされてきた。今回、ご寄贈の話をいただいたのも、富士市内の方がかつて武田氏のもとで下宿生活を送られていたことがご縁となった。 館名に「富士山」を冠する当館としては、願ってもない収蔵品の充実に繋がることから、ご厚意をありがたくお受けすることとし、令和２年秋、広島から富士への大移動をおこない、この様子は中國新聞にも報じられた。武田氏のコレクションは、蔵や別棟等に分散して収納されており、箱数にして 376 箱に及び、整理作業を進めている。 本展では、寄贈者武田弘氏のご紹介をはじめ、膨大なコレクションのうち、整理が済んだものから、陶磁器、工芸品、絵画、建具、くらしの品々などを選んで紹介した。
会場	展示室５
対象	一般
来場者数	大人　10,649 人　小人　3,032 人 合計　14,001 人（1 日平均 147 人）
関連イベント	・ギャラリートーク（無料） 日時：4/4（日）・4/17（土）・4/29（木祝）・5/5（水祝）・5/16（日）・5/29（土）・5/30（日）　各日 13 時 30 分～ ※２月・３月は感染症対策のため中止 参加者：17 人（全７回）

富士参詣曼荼羅の世界　ミュージアム解説

採る・捕る・獲る～富士・沼津・三島の狩猟と採集～　展示風景

富士山コレクション展　展示風景

富士山コレクション　広島での運搬作業

佐野熊ナプキンと富士山　展示風景

徳力富吉郎　富士三十六景　展示風景

こどもと富士山　展示風景

吉原菓子まつりに並ぶ子どもたち発案の菓子

自主展観事業						
種別	特集展示（富士山の玉手箱）					
事業名称	明治の富士ブランド 佐野熊ナプキンと富士山		版画の巨匠　徳力富吉郎 冨士三十六景		岡田紅陽　富士山写真	
会期	2020/3/7（土）～ 5/17（日）【61 日間】 ※ 4/9 ～ 5/17 まで休館のため、 実質 28 日間		2020/5/30（土）～ 8/23（日）【69 日間】		2020/9/5（土）～ 12/23（日）【85 日間】	
内容	明治３８年（１９０５）、佐野熊次郎により富士市吉原に設立された「佐野熊紙ナプキン工場」。この工場で生産されたナプキン紙は、「佐野熊ナプキン」と呼ばれ、その多色カラーの美しさから、当時国内外で人気を博した。 本展示では、当館所蔵の佐野熊ナプキンのうち、富士山をデザインとして取り入れている資料を中心に紹介した。 ・「おうちでふじかぐミュージアム」 YouTube 展示風景（4/22 ～ 6/2） 再生数 93 回		昭和版画の巨匠と称される徳力富吉郎の「冨士三十六景」は、戦前〔昭和 15-16 年（1940-1941）〕に制作された全 36 枚のシリーズ作品。富士山周辺のみならず、信州や伊勢など幅広い場所から眺めた富士の姿を描いたもので、若い時代の傑作のひとつとされている。長きにわたって日本人の心をとらえ続けている、富吉郎のあたたかくやわらかな線と色調を通して、変わらぬ富士の姿と歴史と共に移り行く風景に親しんでいただくことを目的に開催した。 ・「おうちでふじかぐミュージアム」 YouTube 展示風景（6/9 ～ 9/1） 再生数 29 回		新潟県中魚沼郡中条村（現十日町市）で生まれた岡田紅陽（1895 ～ 1974）は、名を賢治郎といい、代々書画に秀でた家系に育ちました。早稲田大学在学中にカメラと出会って以来、河口湖、山中湖など富士山周辺に足しげく通い、富士山写真家の第一人者として活躍した。 新型コロナウイルス感染症対策として富士登山がままならない 2020 年、当館コレクションから 60 年から 80 年ほど前に撮影された岡田紅陽の富士山写真に親しんでいただくことを目的に開催。 ・「おうちでふじかぐミュージアム」 YouTube 展示風景（8/30 ～ 12/8） 再生数 89 回	
会場	展示室２		展示室２		展示室２	
対象	一般		一般		一般	
来場者数	大人	2,846 人	大人	4,926 人	大人	5,163 人
	小人	591 人	小人	1,028 人	小人	1,339 人
	合計	3,437 人	合計	5,964 人	合計	6,502 人
	1 日平均 123 人		1 日平均 86 人		1 日平均 114 人	

自主展観事業				
種別	特集展示（富士山の玉手箱）			
事業名称	富士山の日、富士山ウィーク協賛 こどもと富士山		鳥観図にみる富士	
会期	2021/1/5（火）～ 3/7（日）【52 日間】		3/20（土）～ 6/13（日） 【73 日間】	
内容	感染症対策のため何かと制約のある中、小学校生活まとめの学年である６年生の子どもたちに、博物館として『思い出づくりの場』を提供したいとの思いもあり、郷土のシンボルであり、親しみのある「富士山からイメージしたお菓子のイラスト」を募集、約 600 の応募があり全てを展示した。 また、市内の小学校 27 校から眺めた富士山の写真も併せて展示し、「富士山ウィーク」を迎えることにちなみ、「富士山」の歌が掲載されている新旧の音楽科教科書なども展示した。 応募した各学校の小学生や担当の教員、来館者の方々から、「子どもたちのユニークなアイデアを本物のお菓子の実現に繋ぐことができないものだろうか」というご意見をいただき、市内の吉原菓子組合に相談したところ、同組合に加盟する 4 店が、子どもたちのアイデアをもとに、富士山からイメージしたクッキーやバウムクーヘン、お団子などおよそ 20 点を商品化し、4 月 18 日に開催された『第 1 回吉原菓子まつり』で披露・販売した。吉原菓子組合の方々からも「子どもたちならではのユニークで斬新なアイデアが、これからのお菓子作りに役立つ。ぜひ、このような子どもたちが主体的に参加する展示会を今後も開催してほしい。」との声が寄せられた。 ・「おうちでふじかぐミュージアム」　YouTube 展示風景（12/23 ～ 2021/7/8）　再生数 148 回		大正から昭和にかけて作成された富士山が描かれた鳥瞰図を展示し、コロナ禍で旅行できない昨今の状況のなかで、各名所の描かれた鳥瞰図を見て、少しでも旅行気分を味わっていただくことを目的に開催した。	
会場	展示室２		展示室２	
対象	一般		一般	
来場者数	大人	3,764 人	大人	9,016 人
	小人	1,348 人	小人	2,600 人
	合計	5,112 人	合計	11,616 人
	1 日平均 98 人		1 日平均 159 人	

（２） 教室・講座・イベント・調査

各種講座教育普及事業					
種別	陶 芸		古代体験		
事業名称	博物館陶芸教室		古代人の暮らし～古代の知恵に学ぶ～		
	初心者コース	中級者コース	ミニミニ埴輪づくり	縄文土器作り	親子どきやき体験
日時	5/9、7/11、9/12、11/14、1/9、3/13 原則奇数月第２土曜日 計６回 9：30 ～ 11：00	5/9、7/11、9/12、11/14、1/9、3/13 原則奇数月第２土曜日 計６回 9：30 ～ 16：00 ※感染症対策のため中止	7/23(木祝) 10:00 ～ 11：30 13:00 ～ 14：30 計２回	8/8（土） 9：00 ～ 11：30	11/23（月祝） 10:00 ～ 11:30 13:00 ～ 14:30 計２回
内容	市民の方に陶芸室を有効利用していただくための講座。 陶芸初心者（講師指導あり）、中級者レベルの方のために、年６回、博物館陶芸教室を計画したが、新型コロナウイルス感染症対策のため、初心者コース２回の実施にとどまった。手びねりによる陶芸体験で、粘土でカップやお皿など自由に成形。削り釉薬がけ等の仕上げは職員が行う。作品引渡しは１ヵ月後。		様々な体験を通して先人の知恵や工夫を学ぶ。 大昔の埴輪をモチーフにしてミニミニ埴輪を作り、簡単な窯で焼く。弓ギリ式火おこし道具を使っての、古代の火おこし体験を行った。	様々な体験を通して先人の知恵や工夫を学ぶ。	様々な体験を通して先人の知恵や工夫を学ぶ。 古代の土器や装飾品をモチーフにしたペンダントを、粘土で成形・焼成。弓ギリ式火おこし道具を使っての、古代の火おこし体験を行った。
会場	工芸棟陶芸室	工芸棟陶芸室	工芸棟陶芸室他	工芸棟陶芸室	工芸棟染色室他
対象	小学生以上一般 小学生は保護者同伴	小学生以上一般 小学生は保護者同伴	年少園児から小学生とその保護者 （4 年生以下は保護者同伴）	小学生とその保護者	年少園児から小学生とその保護者 （4 年生以下は保護者同伴）
定員	先着 15 人	先着 15 人	各回先着 12 名	先着６組	先着 親子６組程度 (12 人)
募集開始	２週間前の土曜日 9：00 から体験当日 9：30 まで		7/4(土) 9:00 ～	7/25（土）9：00 ～	11/8(日) 9:00 ～
受講料	粘土 500 ｇ　500 円		200 円 / 人	1,000 円 / 組	100 円 / 人
講師	館職員、陶芸ボランティア	なし	館職員	館職員	館職員
参加人数	① 5/9　感染症対策のため中止 ② 7/11 豪雨により中止 ③ 9/12　12 人 ④ 11/14　10 人 ⑤ 1/9　感染症対策のため中止 ⑥ 3/13 感染症対策のため中止 合計　22 人	① 5/9 ② 7/11 ③ 9/12 ④ 11/14 ⑤ 1/9 ⑥ 3/13 感染症対策のため中止	午前　33 人 午後　13 人 合計　24 人	6 組 13 人	午前　13 人 午後　13 人 合計　26 人

陶芸教室

ミニミニ埴輪作り

各種講座教育普及事業			
種別	その他	型染・染色	紙関係
事業名称	布ぞうり作り体験	富士の型染体験	手漉き和紙
	布ぞうり作り	ランチョンマット （A3 和紙をラミネート加工）作り	好き！漉き！和紙の世界
日時	7/26(日) 9:00 ～ 11:30 ※感染症対策のため中止。	2/23（火祝） ① 9：00 ～ 10：20 ② 10：30 ～ 12：00 ※感染症対策のため中止。	1/16（土）　9：00 ～ 12：00 1/23（土）　9：00 ～ 12：00 1/30（土）　9：00 ～ 13：00 全３回 ※感染症対策のため中止。
内容	古着を利用し、わらじと同じ編み方を手軽に学ぶ講座。ぞうりを知らない世代にも日本の文化に触れる機会となることを目的としたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。	郷土で育まれた型染文化の普及・継承を目的とし、染色の工程を中心に、１日で作品を仕上げる講座。 新型コロナウイルス感染症対策のため、日程変更のうえ計画したが、市内の感染拡大を受け中止とした。	富士市の手漉き和紙の歴史や、和紙を使った文化を、和紙作りの体験を通して、手漉き和紙に対する興味を抱いてもらい、継承者を養成する第一歩とする講座。 市内における新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け中止とした。
会場	講座室	工芸棟染色室	実習室ほか
対象	小学生以上一般 小学生は保護者同伴	小学生以上一般 （小学生以下は保護者同伴）	全３回参加可能で、 和紙作りに興味のある方
定員	先着 20 人	先着 20 人	先着 15 人
募集開始	7/12（日）　9：00 ～	2/6（土）　9：00 ～	12/26（土）　9：00 ～
受講料	300 円	1,000 円　材料費込み	600 円（全３回）
講師	館職員	富士の型染グループ　青藍	館職員
参加人数	感染症対策のため中止	感染症対策のため中止	感染症対策のため中止

縄文土器作り体験

親子どきやき体験

かやぶき農家の癒しのおんがく会（クラシックコンサート）

かやぶき農家の癒しのおんがく会（クラシックコンサート）

<table>
<tr><th colspan="5">各種講座教育普及事業</th></tr>
<tr><td>種別</td><td colspan="4">旧稲垣家住宅体験事業</td></tr>
<tr><td>事業名称</td><td colspan="2">かやぶき農家の癒しのおんがく会</td><td>かまど飯を食べよう！！</td><td>戦時中のおもちゃとくらし</td></tr>
<tr><td>日時</td><td colspan="2">4/19、5/17、6/21、9/20、10/18、11/15、3/28
第３日曜日（３月のみ第４）
13：30 ～ 15：30
・５月（博物館まつりと同時開催）　10：10 ～・11：15 ～
・９月　18:00 ～</td><td>① 6/20（土）
② 9/27（日）
③ 12/5（土）
④ 3/14（日）
各回 11:00 ～ 13：00
※感染症対策のため中止。</td><td>8/9(日)
10:00 ～ 12:00</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="2">旧稲垣家住宅（県指定有形文化財）を活用し、文化財と音楽を融合させた「知的レクリエーション」体験の場として市民に提供した。平成 24 年度から毎月第３日曜日に実施し、令和元年 10 月で 80 回目を迎えた。毎回多くの観客が来場する人気のイベントであるが、新型コロナウイルス感染症対策のため、10 月、11 月の２回の実施にとどまった。実施にあたっては、受付での検温、名簿への記入のほか、室内の座席を減らして多くのお客様に前庭での鑑賞をお願いした。</td><td>電気のない時代にどのような道具を使いどんな生活をしていたか学ぶ体験講座。
新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。</td><td>小学生とその保護者を対象に戦時中のおもちゃを通してどのような生活をしていたかを学んでもらう体験講座。戦争体験者から戦時中の話を聞き、例年は食体験を実施したが、新型コロナウイルス感染症対策のため、内容を変更して実施した。</td></tr>
<tr><td>会場</td><td colspan="2">旧稲垣家住宅</td><td>旧稲垣家住宅</td><td>旧稲垣家住宅</td></tr>
<tr><td>対象</td><td colspan="2">一般</td><td>一般</td><td>小学生とその保護者</td></tr>
<tr><td>定員</td><td colspan="2">なし</td><td>各回　先着 15 人</td><td>先着６組</td></tr>
<tr><td>募集開始</td><td colspan="2">申し込み不要</td><td>① 6/6（土）・② 9/13(土)・
③ 11/21（土）・④ 2/28（日）
9：00 ～</td><td>7/24（金祝）　9：00 ～</td></tr>
<tr><td>受講料</td><td colspan="2">無料</td><td>150 円</td><td>１組 400 円</td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="2">市内近隣在住の演奏者</td><td>館職員</td><td>館職員</td></tr>
<tr><td>参加人数</td><td colspan="2">出演日・出演団体　内容　人数
① 4/19　富士ミューズフルートアンサンブル　フルートアンサンブル　中止
② 5/17　フジヤマアンサンブル　リコーダーアンサンブル　中止
③ 6/21　チルコロ・ピアチェーレ　マンドリンアンサンブル　中止
④ 9/20　Ｋａｇｅ－Ｂｏｓｈｉ　影絵コンサート　中止
⑤ 10/18　フジ・ゾリステン　クラシックコンサート　86 人
⑥ 11/15　ＭＡＵハンドベルリンガーズ　ハンドベルコンサート　122 人
⑦ 3/28　太鼓組ほか　お囃子コンサート　中止
合計 208 人</td><td>① 6/20（土）
② 9/27（日）
③ 12/5（土）
④ 3/14（日）
感染症対策のため中止</td><td>大人　３人
小人　４人
合計　３組７人</td></tr>
</table>

かやぶき農家の癒しのおんがく会（ハンドベル）

戦時中のおもちゃとくらし

<table>
<tr><th colspan="6">各種講座教育普及事業</th></tr>
<tr><td>種別</td><td colspan="2">稲葉家住宅活用事業</td><td colspan="3">たんけん！はくぶつかん！～博物館の裏側お見せします！～</td></tr>
<tr><td>事業名称</td><td colspan="2">稲葉家で学ぶ富士川の歴史と文化</td><td>収蔵庫
クイズラリー</td><td>昔の道具体験</td><td>天秤棒で
水を運ぼう</td></tr>
<tr><td>日時</td><td>① 11/7（土）
おさんぽ富士川歴史街道
10：30 ～ 12：00
13：00 ～ 14：30</td><td>② 3/21（日）
※大観音
10：00 ～ 15：00
※感染症対策のため中止</td><td colspan="3">8/19 （水） 10:00 ～ 12:00</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="2">富士川民俗資料館（稲葉家住宅）は、市内南松野の桑木野地区の中心的な家として 18 世紀に建造されたもので、昭和 47 年に岩淵地区に移転された。市内に残る古民家としては最古のものとなる可能性があり、小屋組に貴重な形式が見られることなどから、平成 22 年 5 月 19 日、富士市指定文化財に指定された。平成 29 年度には文化振興課にて修理事業が行われ、平成 30 年 3 月には再び展示公開となった。
そこで、本事業では、文化財を活用しながら保存し、地域や市内の人々に親しみを持ってもらう施設とするために、以下の事業を実施し、将来的には地域の方々が中心となって展示解説や体験を実施していただくための第一歩とした。
①新型コロナウィルス対策に伴い、当初の紙漉き等の計画を中止し、岩淵の文化財や史跡を巡る引率型フィールドワーク「おさんぽ富士川歴史街道」を実施。「ふじのくにビエンナーレ 2020」の開催期間中で、芸術作品も楽しみながら岩淵の町の史跡や歴史を案内して歩いた。②は岩淵の大観音祭にあわせて実施を計画したが、感染症対策のため中止とした。</td><td colspan="3">博物館において、展示という形で来館者に見ていただくことのできる資料は、収蔵資料のごく一部にすぎない。大部分の資料は、収蔵庫におさめられ、なかなか日の目を見ることはないが、いずれも富士市の歴史や文化を伝える貴重な資料であるといえる。また、近年の学校教育の場では、「昔の道具」という単元が設けられ、祖父母や曽祖父母世代に利用されていた道具を調べてみるということが行われており、民俗資料の新たな可能性が模索されている。
以上の状況を受け、「たんけん！はくぶつかん！」の事業では、外部収蔵庫を一般開放し、収蔵されている資料を実際に見学していただく機会を提供した。また、収蔵資料を用いた体験やレクチャーを実施し、博物館や関連施設における資料の管理や保存に従事する学芸員の姿を知ってもらうことを目的として開催した。
・収蔵庫クイズラリー
・昔の道具（脱穀機等）体験
・天秤棒で運搬体験</td></tr>
<tr><td>会場</td><td colspan="2">富士川民俗資料館（稲葉家住宅）</td><td colspan="3">外部収蔵庫</td></tr>
<tr><td>対象</td><td colspan="2">一般</td><td colspan="3">一般</td></tr>
<tr><td>定員</td><td colspan="2">①午前の部・午後の部　各 12 人　　②随時</td><td colspan="3">なし</td></tr>
<tr><td>募集開始</td><td colspan="2">①当日 / 午前 10：00 ～ 10：30/ 午後 12：30 ～ 13：00
②随時</td><td colspan="3">当日</td></tr>
<tr><td>受講料</td><td colspan="2">①参加無料　②ハガキ 1 枚 50 円 / その他無料</td><td colspan="3">無料</td></tr>
<tr><td>講師</td><td colspan="2">館職員</td><td colspan="3">館職員</td></tr>
<tr><td rowspan="2">参加人数</td><td>午前　大人　9 人　小人　2 人
午後　大人　4 人　小人　0 人</td><td></td><td>大人　12 人
小人　12 人
合計　24 人</td><td>大人　18 人
小人　16 人
合計　34 人</td><td>大人　5 人
小人　12 人
合計　17 人</td></tr>
<tr><td>合計　15 人</td><td>感染症対策のため中止</td><td colspan="3">延べ人数　大人　35 人　小人　40 人　合計　75 人</td></tr>
</table>

おさんぽ富士川歴史街道

たんけん！はくぶつかん！（脱穀体験）

各種講座教育普及事業

種別	各種体験学習
事業名称	博物館の日
内容	事前申し込み無しにさまざまな体験メニューを提供する１日。新型コロナウイルス感染症対策のため、実施したのは８月、10 月、12 月のみで、さらに、体験者の集中を防ぐため体験の数を減らし、館職員以外が講師となる体験は中止とした。

実施状況

体験内容	定員（人）	受講料（円）	4/5 中止	6/7 中止	8/2	10/4	12/13	2/7 中止	合計	会場
博物館クイズ	なし	無料			1	15	2		18	本館
手漉きはがき作り（溜め漉き）	なし	100			25	41	6		72	染色室前
型染しおり作り	なし	50							0	染色室
火おこし体験　※雨天中止	なし	無料			6	33	8		47	陶芸室前
古代の弓矢体験	なし	無料			22	39	8		69	染色室前
子どもの成長記録（和紙手形）	20	500	―						―	実習室
本藍染めハンカチ作り	20	400			20				20	陶芸室
鋳造ペンダント作り	20	400	―						―	陶芸室
藍染め和紙で香袋とサシェ作り	20	300		―					―	実習室
折染め団扇作り	20	200		―					―	陶芸室
菊花線香作り	20	200		―					―	陶芸室
創作和紙でつくる貯金箱	12	700			―				―	実習室
勾玉作り	20	300			―				―	陶芸室
ピカピカ泥団子作り	20	100			―				―	陶芸室
ガラスのペンダント作り	20	500				30			30	陶芸室
クリスマスキャンドル作り	20	300					10		10	陶芸室
張り子ダルマ作り	20	300						―	―	陶芸室
合計					74	158	34		266	

対象	広く一般
受付方法	当日受付

博物館の日（本藍染ハンカチ作り）

博物館の日（クリスマスキャンドル作り）

博物館の日（火おこし体験）

博物館の日（溜め漉き体験）

各種講座教育普及事業			
種別	利用者団体との共同事業	共同事業	参加事業
事業名称	博物館まつり	富士山ネットワーク推進委員会活動	吉原宿宿場まつり
日時	5/17（日）　10:00 ～ 14:30 感染症対策のため中止	通年（コンテスト等は、夏休み期間） 感染症対策のため中止	10/11(日)　10：30 ～ 16:00 頃 感染症対策のため中止
内容	広見公園のバラの開花時期に併せ、博物館、テーマ展や屋外展示等の案内・説明、各団体による実演、体験、バザー等 【自主イベント（下記網掛け)】 ・展示解説 ・探検ラリー ・癒しのおんがく会　同時開催 新型コロナウイルス感染症対策のため、4/9 ～ 5/17 まで臨時休館となり中止とした。	富士山ネットワーク推進委員会は、平成５年に富士山周辺の５つの博物館・園によって組織され、現在下記の７館園によって運営されている。現在までに富士山をテーマとした企画展の各館同時開催や、コンテストなどを通して富士山に関する情報発信を行い、相互に連携をとってきた。ネットワーク発足 28 年目となった令和２年度は、下記事業を予定したが、感染症対策のため中止とした。 【内容】 ・富士山ぐるりんコンテスト ・PR イベントでの体験講座（富士山折紙帽子作り体験） ・コンテスト受賞作品巡回展（1 月中旬～２月中旬） 【加盟館 (当館を除く)】 裾野市立富士山資料館、奇石博物館、富士サファリパーク、富士山樹空の森、富士山こどもの国、静岡県世界遺産センター	主催：吉原宿宿場まつり実行委員会 【参加内容】 ・体験 富士山折紙帽子作り体験 (無料) オリジナル缶バッジ作り (100 円) ・オリジナルグッズ販売 ・展示 「お天王さん」(観覧無料)
会場	本館・工芸棟・歴民・広見公園	各加盟館園等で開催	吉原商店街店舗内
対象	広く一般	広く一般	広く一般
受講料	体験ブースによって異なる	無料	100 円（宿場缶バッチ）
参加人数	本館入館者　－　人 探検ラリー　－　人 葉彩画（しおり作り）　－　人 富士山スズタケ工芸同好会　－　人 富士の型染グループ　－　人 禮文窯　－　人 陶遊会　－　人 駿河郷土史研究会　－　人 おんがく会（フジヤマアンサンブル）　－　人 埋蔵文化財調査室　－　人 木彫り「絆」　－　人 アートスペース富士和紙　－　人 アマチュア無線クラブ　－　人 こどもの国（工作体験） 富士山資料館（勾玉づくり） 奇石博物館（宝石さがし）　－　人 博物館ボランティア　－　人	5/17　当館　中止　－人 6/ 中旬　富士市交流プラザ　中止　－人 8/ 中旬　富士山こどもの国　中止　－人 10/18　奇石博物館　中止　－人 3/15　世界遺産センター　中止　－人	入場者数　－人 富士山折り紙帽子作り　－人 宿場缶バッジ　－人
	感染症対策のため中止	感染症対策のため中止	感染症対策のため中止

◇事　業　名　六所家総合調査事業

◇概　　要　六所家旧蔵資料は、大きく江戸時代以前（中世・近世）の富士山東泉院に関する資料群（以下、東泉院関係資料とする）と、明治時代以降（近代）の六所家に関わる資料群（以下、六所家関係資料とする）に分けられ、東泉院関係資料は、さらに中世・近世の文書類、聖教類、書画の三種類に大別できる。本資料群は、地域の歴史や文化を解明する多くの材料を秘めた資料群で、こうした資料がまとまって発見されたことは学術的にも大きな価値をもつ。

◇実施状況　令和２年度はこれまでの調査成果の集大成として概説本『富士山東泉院の歴史』を編集・発行した。A ４判 127 頁。

（３）　学校等への参加協力事業

小中学校への学習支援

◇**日　　時**　小中学校からの依頼により随時実施

◇**会　　場**　市内の小・中学校、富士市立博物館本館、旧稲垣家住宅など

◇**講　　師**　博物館職員

◇**内　　容**　展示見学や紙すき体験や縄文土器作りなどの体験学習、実物資料等を用い講話する出前授業、資料の貸出により、小中学校の総合的な学習や社会科、生活科の学習を支援する。

◇**実施状況**　以下のとおり

※令和２年４月９日から５月１７日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館。

①見学

（小学校）

	学校名	学　年	人　数	教　科	単　元	日　付
1	富士南小学校	3	147 人	社会	わたしたちのまちと市・わたしたちの市の歩み	９月４日
2	富士川第一小学校	4・5・6	10 人	教科外活動	歴史クラブ活動	９月 11 日
3	浜松市立大平台小学校	6	35 人	学校行事	修学旅行	10 月１日
4	山梨県富士河口湖町立河口小学校	6	18 人	学校行事	修学旅行	10 月 13 日
5	須津小学校	3	96 人	社会	わたしたちのまちと市・わたしたちの市の歩み	10 月１日
6	富士見台小学校	3	45 人	社会	わたしたちの市のようす	10 月 15 日
7	鷹岡小学校	3	98 人	社会	変わるわたしたちのくらし・鷹岡の昔	10 月 21 日
8	天間小学校	3	55 人	社会	わたしたちの市の歩み	10 月 22 日
9	原田小学校	3	56 人	社会	わたしたちのまちと市・わたしたちの市の歩み	10 月 23 日
10	山梨県西桂町立西桂小学校	6	38 人	学校行事	修学旅行	11 月６日
11	富士第二小学校	3	105 人	社会	わたしたちのまちと市	11 月６日
12	今泉小学校	4	99 人	社会	郷土の発展につくした人々	11 月 20 日
13	富士宮市立大富士小学校	6	93 人	総合・社会	地元の教材で歴史を学ぼう	12 月１日
14	富士宮市立大富士小学校	6	62 人	総合・社会	地元の教材で歴史を学ぼう	12 月４日
15	天間小学校	6	49 人	社会	歴史	12 月 11 日
16	吉永第一小学校	3	64 人	社会	変わる道具とくらし	１月 21 日
17	大淵第一小学校（吉原林間学園）	3	５人	社会	昔のくらし	１月 28 日
18	富士中央小学校	3	105 人	社会	わたしたちの市の歩み	２月４日
19	富士南小学校	4	163 人	社会	昔から今へと続くまちづくり	３月 11 日

（中学校・高校・大学）

	学校名	学　年	人　数	教　科	単　元	日　付
1	静岡県立富士特別支援学校	1	４人	生活	地域を知ろう	10 月２日

（その他施設・団体）

	施設・団体名	対象	人　数	内容	日　付
1	ボーイスカウト富士第８団ビーバー隊	小１～２	10 人	博物館内見学	10 月 17 日
2	青少年相談センター	小１～中３	30 人	博物館内見学	２月 26 日

②体験学習

（小学校）

	学校名	学　年	人　数	体験内容	教　科	場　所	日　付
1	吉原小学校	6	84 人	勾玉作り体験	社会	学校	８月 26 日
2	岩松小学校	6	93 人	縄文土器作り体験	図工	学校	10 月６日
3	青葉台小学校	6	75 人	縄文土器作り体験	社会	学校	10 月７日
4	須津小学校	3	96 人	囲炉裏体験、紙漉き体験	社会	博物館	10 月 13 日
5	天間小学校	3	55 人	囲炉裏体験	社会	博物館	10 月 22 日
6	原田小学校	3	56 人	囲炉裏体験	社会	博物館	10 月 23 日
7	富士第二小学校	3	105 人	囲炉裏体験	社会	博物館	11 月６日
8	広見小学校	4	103 人	紙漉き体験	社会	博物館	11 月 10 日
9	岩松小学校	6	92 人	勾玉作り、野焼き、古代米炊飯体験	社会	学校	11 月 20 日
10	青葉台小学校	6	75 人	勾玉作り、野焼き体験	社会	学校	11 月 12 日
11	富士宮市立大富士小学校	6	93 人	紙漉き体験	総合・社会	博物館	12 月１日
12	富士宮市立大富士小学校	6	62 人	紙漉き体験	総合・社会	博物館	12 月４日
13	吉永第一小学校	3	64 人	囲炉裏体験	社会	博物館	１月 21 日
14	富士中央小学校	3	105 人	囲炉裏体験	社会	博物館	２月４日
15	富士南小学校	4	163 人	囲炉裏体験	社会	博物館	３月 11 日

（中学校）

	学校名	学　年	人　数	体験内容	教　科	場　所	日　付
1	岳陽中学校	特別支援	15人	陶芸体験	総合	学校	11月6日

（高等学校）

	学校名	学　年	人　数	体験内容	教　科	場　所	日　付
1	静岡県立富士特別支援学校	1	4人	紙漉き体験	総合	博物館	8月1日

（その他施設・団体）

	施設・団体名	対　象	人　数	体験内容	場　所	日　付
1	サロンあいあい	一般	10 人	陶芸体験	博物館	9月10日
2	ボーイスカウト富士第２団カブ隊	一般	20 人	紙漉き体験	博物館	9月20日
3	ボーイスカウト富士第８団ビーバー隊	小1～小2	10 人	草木染め体験	博物館	10月17日
4	就労定着支援事業所アポーヨ富士	一般	9 人	陶芸体験	博物館	12月2日
5	ボーイスカウト富士第８団ビーバー隊	小1～小2	5 人	しめ縄作り体験	博物館	12月19日
6	鷹岡まちづくりセンター	小4～小6	20 人	勾玉作り体験	施設	2月13日

③出前講座、講演会など

（小学校）

	学校名	学　年	人　数	講座内容	教　科	日　付
1	伝法小学校	6	125　人	大昔のくらし	社会	8月4日
2	吉原小学校	6	58　人	旧石器・縄文・弥生時代の石器・土器	社会	8月5日
3	今泉小学校	4	99　人	郷土の発展につくした人々	社会	11月18日
4	青葉台小学校	3	74　人	お茶たんけん隊	総合	11月19日
5	青葉台小学校	3	74　人	かわる道具とくらし	社会	1月15日
6	富士第二小学校	3	105　人	昔の道具とくらし	社会	1月19日
7	富士南小学校	3	146　人	わたしたちの市の歩み・かわる道具とくらし	社会	1月29日
8	伝法小学校	3	105　人	かわる道具とくらし	社会	2月9日
9	神戸小学校	3	40　人	わたしたちの市の歩み・かわる道具とくらし	社会	2月10日
10	広見小学校	3	113　人	わたしたちの市の歩み	社会	2月16日
11	岩松小学校	3	79　人	わたしたちの市の歩み・かわる道具とくらし	社会	2月19日

（その他施設・団体）

	施設・団体名	人　数	講座内容	日　付
1	＃おうちで吉原祇園祭	230　人	吉原祇園祭解説（Instagram配信）	6月14日
2	鷹岡地域包括支援センター	10　人	地域回想法	9月15日
3	東部地域包括支援センター	13　人	地域回想法	10月6日
4	富士南部地域包括支援センター	24　人	地域回想法	10月7日
5	吉原西部地域包括支援センター	13　人	地域回想法	11月5日
6	富士北部地域包括支援センター	12　人	地域回想法	11月25日
7	吉原中部包括支援センター	10　人	地域回想法	11月26日
8	原田まちづくりセンター	16　人	原田地区に伝わる伝承	12月4日
9	吉原まちづくりセンター	14　人	富士の歳時記	12月10日
10	吉原まちづくりセンター	9　人	白隠禅師	1月14日

④資料の貸出（学校関係のみ）

（小学校）

	学校名	学　年	人　数	資　料　名	点　数	教　科	日　付
1	伝法小学校	6	125 人	室野坂古墳出土須恵器1、岩倉A遺跡出土弥生土器1、大平遺跡縄文中期土器1、黒曜石製石鏃30、天間沢遺跡土器片7	40	社会	6月25日
2	吉原小学校	6	85 人	室野坂古墳出土須恵器1、岩倉A遺跡出土弥生土器1、大平遺跡縄文中期土器1、黒曜石製石鏃30、天間沢遺跡土器片7、破魔射場遺跡出土石鏃1	41	社会	8月5日
3	富士宮市立芝富小学校	6	32 人	火起こし道具	5	社会	10月16日
4	吉原小学校	特別支援	6 人	綿繰り機	1	生活	10月17日
5	吉原小学校	3	79 人	洗濯機	1	社会	11月16日
6	吉永第一小学校	3	64 人	手動式洗濯機1、こたつ1、ラジオ1、炭入りアイロン1、黒電話（ダイヤル式）1、釜1、洗濯機1	2	国語	10月17日

（幼稚園・保育園）

	園名	学　年	人　数	資　料　名	点　数	教　科	日　付
1	富士川第一幼稚園	年少～年長	40 人	青い目の人形メリー	1	—	9月16日

（４） 富士市立博物館ボランティアの活動

令和２年度の主な活動実績

令和２年４月の会員数 29 人。令和２年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、体験講座などに代えて職員と行う資料整理へ活動内容をシフトし、延べ 147 人が活動に参加した。

月	内　　容	人数
10	まちづくりセンター出前講座 (回想法)	1
	まちづくりセンター出前講座 (回想法)	1
	収蔵資料整理	1
	収蔵資料整理	2
	ボランティア月例会	13
	収蔵資料整理	1
	収蔵資料整理	1
11	富士山コレクション資料整理	3
	まちづくりセンター出前講座 (回想法)	1
	広告資料整理	1
	富士山コレクション資料整理	2
	富士山コレクション資料整理	4
	富士山コレクション資料整理	1
	富士山コレクション資料整理	3
	富士山コレクション資料整理	3
	富士山コレクション資料整理	2
	広告資料整理	1
	まちづくりセンター出前講座 (回想法)	2
	富士山コレクション資料整理	2
	まちづくりセンター出前講座 (回想法)	1
	広告資料整理	1
	ボランティア月例会	14
	広告資料整理	1
12	富士山コレクション資料整理	4
	富士山コレクション資料整理	1
	富士山コレクション資料整理	4
	小学校出張対応	3
	富士山コレクション資料整理	5
	富士山コレクション資料整理	5
	富士山コレクション資料整理	2
	ボランティア月例会	15
	富士山コレクション資料整理	1

月	内　　容	人数
2	広告資料整理	1
	広告資料整理	1
	広告資料整理	1
	広告資料整理	1
	富士山コレクション資料整理	2
	富士山コレクション資料整理	2
	広告資料整理	1
	広告資料整理	1
	富士山コレクション資料整理	2
	広告資料整理	1
	富士山コレクション資料整理	1
	広告資料整理	1
	富士山コレクション資料整理	1
	広告資料整理	1
3	広告資料整理	1
	広告資料整理	1
	広告資料整理	1
	広告資料整理	1
	広告資料整理	1
	富士山コレクション資料整理	1
	富士山コレクション資料整理	1
	広告資料整理	1
	富士山コレクション資料整理	2
	富士山コレクション資料整理	1
	広告資料整理	1
	ボランティア月例会	13
	絵馬資料整理	2
	合計	147

（５） ふじかぐミュージアムニュース

○「おうちでふじかぐミュージアム」開設

新型コロナウイルス感染症対策のための閉館中の市民向けサービスとして、動画投稿サイト YouTube を活用し、当市の歴史、展示会解説のほか、家庭でもできるようなクラフトや体験学習、小学生向けの補助教材動画などを紹介した。

配 信 開 始　令和２年４月 19 日（日）から
総制作動画数　22 本
公開中の動画　14 本
・「かわる道具とくらし」
　人々の生活の変化と共に移り変わってきた生活道具などの紹介
・「むかしのおうち　むかしの道具」
　昔のうちのしくみや道具についての紹介など

公開終了動画　８本（過去の展示会）
・「揺する！富士市のお天王さん」
　展示会場で放映の各地区のお天王さんの様子
・「明治の富士ブランド　佐野熊ナプキンと富士山」
　会期中に感染症対策による臨時休館のため 28 日間の開館となり、貴重な展示内容紹介動画となった。
・「富士参詣曼荼羅の世界」
　資料解説（展示室の QR コードで限定公開）　６本

ワークシート

感染症対策で閉館中、家庭でできる子供の学び・遊びの提供を実施。令和２年５月31日までの期間限定公開。

・「かみすけ・かみこ（博物館キャラクター）福笑い」
・「ペーパー芯のこいのぼり作り」
・「こどもの日の由来（柏餅の作り方付き）」
・「富士山折紙の作り方」
・「仏さま塗り絵」
・「紙トンボの作り方」など。

当館ウェブサイトにアップされたワークシートから作ったもの

○岳南電車コラボ「ふじかぐちゃん名月号」

当館キャラクターふじかぐちゃんのヘッドマークをつけた「ふじかぐちゃん名月号」が令和２年10月、岳南鉄道を走った。10月３日（土）、31日（土）は夜景電車として運転され、当館学芸員が富士市に伝わるかぐや姫伝説を紹介した。

ふじかぐちゃんがデザインされた、史上初？！“竹形硬券”のかわいいフリー乗車券と竹採公園最寄り駅の比奈駅入場券も販売され、好評だった。

ふじかぐちゃん乗車券

ふじかぐちゃん名月号

2　令和２年度　施策・利用状況

（１）　令和２年度教育行政の基本方針と施策

目　　標　「学び合い　学び続ける「ふじの人」づくり」
施策の柱　「市民の学びと青少年健全育成の推進」
補助執行事業　「文化財施設の整備（文化振興課・博物館）」

博物館では、本館と歴史民俗資料館、旧稲垣家住宅などの屋外展示や富士川民俗資料館等で富士市の歴史・文化及び文化財を紹介しています。それらを、市民により身近に感じてもらえるように、展示会を企画・開催し、先人が行っていた生活の知恵や技術を実際に学べるよう、体験講座を行っています。

また、博物館をはじめとしたふるさと村歴史ゾーンにユニバーサルデザインの考えを取り入れ、多くの市民が利用できる施設として整備するとともに、博物館事業及び膨大な所蔵資料等も紹介する博物館ウェブサイトの充実を図っていきます。

さらに、富士山に係る資料の収蔵作業及びその資料の公開機会を検討するほか、六所家総合調査事業に係る一般向け解説書「富士山東泉院の歴史」の編集・発行を行います。

（以下、◎重点事業、◇新規事業、・継続中の主な事業、○その他の事業）

◎博物館施設・展示・講座の充実
・魅力的な施設整備と、充実した展示・講座を開催し、博物館施設利用者数の増加に努める。
・本市とその周辺の歴史・文化について調査研究し、その成果を展示会とし市民に公開する。
◇３つのテーマ展示会と１つの共同企画展を開催する。
◇本館消火設備機器の取替修繕を行う。
◎ウェブサイトの充実
・公開する情報量をさらに充実していく。
・博物館収蔵品データベースの整備を進める。
◇新ウエブサイト（クラウド対応）の起動及び利用について対応、検討する。
◎広見公園内ふるさと村歴史ゾーンの整備充実
・本市の歴史と文化を楽しく学べるように、ふるさと村歴史ゾーン内の各施設の適正管理を行う。
○◇富士山に係る資料の収蔵作業及びその資料の公開機会を検討する。
○◇一般向け概説書　「（仮）富士山東泉院の歴史」の編集・発行を行う。

（２）　予算・決算の概要

令和２年度予算・決算

単位：千円

項　　目		予算現額	決算額	説　　明
1	給与費	57,820	55,341	
	①博物館協議会委員	192	91	協議会委員報酬
	②一般職	43,182	42,224	一般職員給料、職員手当、共済費
	③パートタイム会計年度任用職員	14,446	13,026	パートタイム会計年度任用職員報酬、期末手当、共済費、費用弁償
2	博物館管理費	40,340	37,657	
	①博物館運営管理事業費	8,022	6,676	光熱水費、通信運搬費、消耗品費、印刷製本費
	②博物館施設管理事業費	32,318	30,981	博物館消火設備修繕、市指定文化財「眺峰館」柱・バルコニー修繕、本館屋根補修修繕、施設警備・清掃・保守点検業務委託費等
3	博物館事業費	3,556	2,206	
	①企画展事業費	1,394	952	三市共同企画展・展示会にかかる事業費、富士・沼津・三島三市博物館連絡協議会負担金
	②各種講座等教育普及事業費	2,162	1,254	博物館の日、陶芸教室、古代人の暮らし、戦時中のおもちゃとくらし、稲葉家で学ぶ富士川の歴史と文化、稲垣家茅葺屋根維持管理業務委託等
4	博物館調査費	7,203	6,241	
	①資料調査研究事業費	5,012	4,519	富士山コレクション運搬、整理作業等事業費
	②資料購入事業費	100	67	富士山・かぐや姫に関する資料等購入
	③資料保存整備事業費	713	683	収蔵品データベース保守、サーバー利用料、クラウド利用料等
	④六所家総合調査事業費	1,378	972	一般向け概説書印刷製本費等
合　　計		108,919	101,445	

（３）　博物館協議会

博物館協議会委員

任期：令和元年６月１日～令和３年５月31日

50音順　敬称略

No.	氏　　名	団体名・役職
1	石原　克己	富士市立広見小学校・校長
2	市原　和子	市民公募
3	内田　理恵	市民公募
4	小澤　　緑	富士自然観察の会・副会長
5	加藤　昭夫	駿河郷土史研究会・会長
6	佐野　五十三	富士市立富士川第二小学校学校運営協議会・委員
7	佐野　禎彦	静岡県工業技術研究所工業技術支援センター・センター長
8	髙井　忠満	富士市介護保険事業者連絡協議会・副部会長
9	外立　ますみ	日本民具学会・会員
10	望月　秀一	富士市立富士南小学校・校長

令和２年度　博物館協議会開催実績

回	日　付	開催場所	議　題　・　内　容
1	令和２年11月27日	富士山かぐや姫ミュージアム講座室	・令和２年度本館観覧者数の推移（報告） ・令和２年度主要事務・事業の計画及び実施報告 ・武田弘氏（広島市）寄贈品　富士山コレクション紹介　（高林学芸員） ・富士・沼津・三島３市博物館共同企画展「採る・捕る・獲る～富士・沼津・三島の狩猟・採集～」案内（秋山学芸員）
2	令和３年２月９日	富士山かぐや姫ミュージアム講座室	・令和２年度主要事務・事業の計画及び実施報告 ・提言書の振りかえり ・テーマ展「新収蔵品　富士山コレクション」案内（高林学芸員）

第１回　協議会

寄贈品　富士山コレクションを協議会委員へ披露

（４） 利用状況

令和２年度博物館事業利用状況

年間開館日数	255 日	一日平均利用者数	181 人
年間利用者数	46,149 人	利用者累計	1,796,923 人

令和２年度博物館施設利用状況

利用場所			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
本　館	１階（実数）	大人	149	201	428	436	608	785	732	605	221	303	403	465	5,336
		小人	24	36	56	106	196	303	527	274	237	139	235	283	2,416
	１階　計		173	237	484	542	804	1,088	1,259	879	458	442	638	748	7,752
	２階（実数）		1,667	1,644	2,157	1,585	2,780	2,581	3,553	3,341	1,590	2,044	3,045	4,026	30,013
	＜小計（実数）＞		1,840	1,881	2,641	2,127	3,584	3,669	4,812	4,220	2,048	2,486	3,683	4,774	37,765
	報告人数 １階（実数）	大人	149	201	428	436	608	785	732	605	221	303	403	465	5,336
		小人	24	36	56	106	196	303	527	274	237	139	235	283	2,416
	報告人数 ２階（× 0.7）	大人	981	1,015	1,372	930	1,475	1,395	1,675	1,772	663	1,065	1,532	2,155	16,030
		小人	143	125	121	164	447	393	789	548	443	345	583	642	4,743
	本館大人計（報告人数）		1,130	1,216	1,800	1,366	2,083	2,180	2,407	2,377	884	1,368	1,935	2,620	21,366
	本館小人計（報告人数）		167	161	177	270	643	696	1,316	822	680	484	818	925	7,159
《本館計》			1,297	1,377	1,977	1,636	2,726	2,876	3,723	3,199	1,564	1,852	2,753	3,545	28,525
歴民館	個人	大人	100	115	237	174	214	226	289	296	207	251	334	275	2,718
		小人	13	29	27	32	80	72	57	89	45	70	149	101	764
	団体	大人	0	0	0	17	0	7	43	4	6	36	6	27	146
		小人	0	0	0	0	0	155	345	105	203	64	104	162	1,138
	歴民大人計		100	115	237	191	214	233	332	300	213	287	340	302	2,864
	歴民小人計		13	29	27	32	80	227	402	194	248	134	253	263	1,902
《歴民計》			113	144	264	223	294	460	734	494	461	421	593	565	4,766
その他	陶芸室	大人	113	0	0	245	260	266	292	297	276	257	249	279	2,534
		小人	0	0	0	16	42	7	89	22	18	0	0	0	194
	染色室	大人	20	0	0	97	109	104	120	106	90	72	89	84	891
		小人	0	0	0	0	14	13	49	0	6	0	0	0	82
	実習室	大人	2	0	0	0	0	11	10	25	29	8	12	12	109
		小人	0	0	0	0	0	13	94	105	153	0	8	0	373
	講座室	大人	0	0	0	6	16	24	22	17	14	0	6	6	111
		小人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	12
	旧稲垣家住宅	大人	248	0	0	99	326	288	378	439	202	193	75	295	2,543
		小人	103	0	0	8	176	286	463	266	203	57	114	204	1,880
	出張体験指導	大人	0	0	0	0	43	11	43	60	35	20	12	0	224
		小人	0	0	0	0	307	10	168	264	92	325	351	0	1,517
	その他大人計		383	0	0	447	754	704	865	944	646	550	443	676	6,412
	その他小人計		103	0	0	24	539	329	863	657	472	382	485	204	4,058
《その他計》			486	0	0	471	1,293	1,033	1,728	1,601	1,118	932	928	880	10,470
富士川民俗資料館	個人	大人	6	14	31	67	36	37	156	342	23	30	57	33	832
		小人	0	0	0	0	5	2	10	37	3	3	5	3	68
	団体	大人	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	17	10	43
		小人	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	富士民大人計		6	14	31	67	36	37	156	358	23	30	74	43	875
	富士民小人計		0	0	0	0	5	2	10	39	3	3	5	3	70
《歴民計》			6	14	31	67	41	39	166	397	26	33	79	46	945
小休本陣	個人	大人	19	36	22	55	77	78	199	566	65	82	84	44	1,327
		小人	2	0	0	0	0	11	8	36	1	10	21	1	90
	団体	大人	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	16	0	26
		小人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小休大人計		19	36	22	55	77	88	199	566	65	82	100	44	1,353
	小休小人計		2	0	0	0	0	11	8	36	1	10	21	1	90
《小休計》			21	36	22	55	77	99	207	602	66	92	121	45	1,443
大人			1,638	1,381	2,090	2,126	3,164	3,242	3,959	4,545	1,831	2,317	2,892	3,685	32,870
小人			285	190	204	326	1,267	1,265	2,599	1,748	1,404	1,013	1,582	1,396	13,279
《総合計》			1,923	1,571	2,294	2,452	4,431	4,507	6,558	6,293	3,235	3,330	4,474	5,081	46,149

前年比（%）	28	17	46	57	89	89	111	95	81	65	68	113	68
開館日数（日）	7	12	24	24	27	26	27	24	12	24	22	26	255
一日平均（人）	275	131	96	102	164	173	243	262	270	139	203	195	181

対 R1 年度

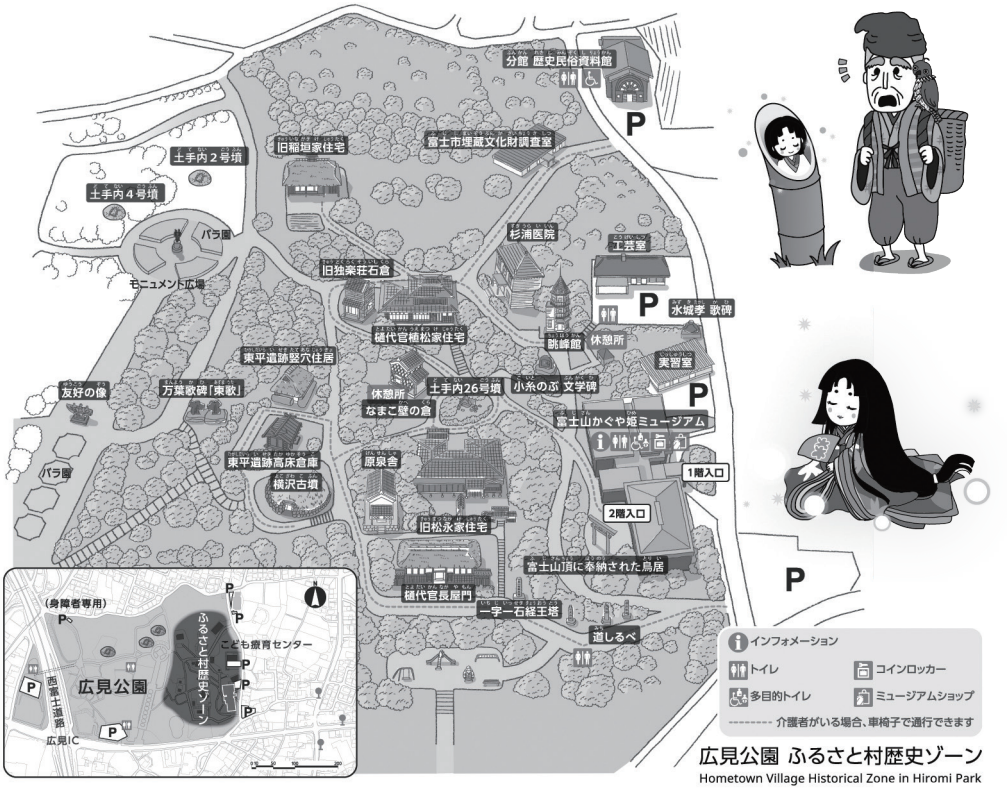
本館	-3,044	-4,517	-906	-963	-516	-179	443	-197	-705	-1,103	-80	811	-10,956
歴民	-443	-509	-135	-173	-97	-2	110	-387	66	-30	76	172	-1,352
工芸・体験等	-1,323	-2,378	-1,457	-782	30	-297	-37	-453	-118	-469	-390	-307	-7,981
富士川民俗資料館	-55	-145	-30	30	12	-24	17	275	3	-107	-836	-12	-872
小休本陣	-150	-247	-120	34	24	-44	98	443	-23	-81	-873	-61	-1,000
合計	-5,015	-7,796	-2,648	-1,854	-547	-546	631	-319	-777	-1,790	-2,103	603	-22,161

博物館利用の推移

年度	開館日数	施設利用者別			施設別					合計	累計	一日平均利用者数
		大人	小人	合計	本館	歴史民俗資料館	富士川民俗資料館	小休本陣常盤家住宅	講座・体験活動等			
昭和 56	274	16,133	16,425	32,558	32,558					32,558	32,558	119
57	295	11,636	18,024	29,660	29,660					29,660	62,218	101
58	293	10,077	15,074	25,151	25,151					25,151	87,369	86
59	297	10,065	13,847	23,912	23,912					23,912	111,281	81
60	292	12,513	13,680	26,193	26,193					26,193	137,474	90
61	256	11,751	9,124	20,875	20,875					20,875	158,349	82
62	293	17,132	10,489	27,621	27,621					27,621	185,970	94
63	291	19,455	11,037	30,492	30,492					30,492	216,462	105
平成元	292	25,043	11,561	36,604	25,796				10,808	36,604	253,066	125
2	292	25,118	11,431	36,549	36,549					36,549	289,615	125
3	291	23,826	10,566	34,392	34,392					34,392	324,007	118
4	294	24,132	11,700	35,832	24,983				10,849	35,832	359,839	122
5	294	26,666	11,209	37,875	25,580				12,295	37,875	397,714	129
6	293	26,462	11,649	38,111	21,319				16,792	38,111	435,825	130
7	294	30,101	18,130	48,231	19,604	14,691			13,936	48,231	484,056	164
8	296	28,436	13,775	42,211	16,335	14,060			11,816	42,211	526,267	143
9	292	26,206	16,031	42,237	15,392	14,942			11,903	42,237	568,504	145
10	293	27,396	18,575	45,971	14,275	14,951			16,745	45,971	614,475	157
11	292	27,261	16,684	43,945	12,074	13,909			17,962	43,945	658,420	150
12	291	27,089	18,440	45,529	12,055	13,040			20,434	45,529	703,949	156
13	291	30,986	19,778	50,764	13,753	13,529			23,482	50,764	754,713	174
14	291	28,972	17,220	46,192	12,177	11,125			22,890	46,192	800,905	159
15	291	29,594	18,478	48,072	14,496	11,885			21,691	48,072	848,977	165
16	291	26,228	26,001	52,229	14,787	10,469			26,973	52,229	901,206	179
17	293	23,845	20,575	44,420	12,324	8,757			23,339	44,420	945,626	152
18	294	24,166	21,241	45,407	13,590	10,244			21,573	45,407	991,033	154
19	292	25,259	21,910	47,169	13,411	9,937			23,821	47,169	1,038,202	162
20	293	28,199	24,371	52,570	12,872	11,222	1,172	2,177	25,127	52,570	1,090,772	179
21	294	36,563	18,767	55,330	12,311	10,787	2,315	3,116	26,801	55,330	1,146,102	188
22	292	29,059	14,214	43,273	9,204	8,357	1,635	1,835	22,242	43,273	1,189,375	148
23	295	33,373	18,945	52,318	12,383	9,161	1,360	1,833	27,581	52,318	1,241,693	177
24	294	32,848	14,265	47,113	9,860	7,938	821	1,575	26,919	47,113	1,288,806	160
25	291	26,895	14,510	41,405	9,489	6,423	835	1,815	22,843	41,405	1,330,211	142
26	290	35,099	16,518	51,617	9,621	7,335	948	3,439	30,274	51,617	1,381,828	178
27	301	24,792	13,051	37,843	3,081	6,747	865	2,748	24,402	37,843	1,419,671	126
28	302	70,300	24,524	94,824	54,562	7,315	1,311	6,056	25,580	94,824	1,514,495	314
29	305	57,169	22,635	79,804	49,529	6,441	226	2,720	20,888	79,804	1,594,299	262
30	305	61,487	26,678	88,165	51,453	7,983	2,599	3,248	22,882	88,165	1,682,464	289
令和元	304	52,090	16,220	68,310	39,481	6,118	1,817	2,443	18,451	68,310	1,750,774	225
令和2	255	32,870	13,279	46,149	28,525	4,766	945	1,443	10,470	46,149	1,796,923	181
	11,669	1,136,292	660,631	1,796,923	871,725	262,132	16,849	34,448	611,769	1,796,923		153

3　富士山かぐや姫ミュージアムの概要

（１）　施設の概要



＜富士市立博物館施設面積一覧＞　　単位：㎡

区　分	名　称		土地面積	延べ床面積
本　館	本　　館		4,951.00	1,740.34
	実　習　室			200.00
	工　芸　棟			248.43
	小　計		4,951.00	2,188.77
歴史民俗資料館	歴史民俗資料館		1,665.00	656.95
	収　蔵　庫			208.75
	屋外展示	道しるべ	39,687.50	-
		樋代官長屋門		69.20
		旧松永家住宅		180.37
		一字一石経王塔		-
		原泉舎		74.40
		横沢古墳		-
		東平遺跡高床倉庫		18.17
		東平遺跡竪穴住居		23.50
		万葉歌碑「東歌」		-
		小糸のぶ文学碑		-
		眺峰館		59.01
		杉浦医院		138.60
		樋代官植松家住宅		195.00
		旧独楽荘石倉		33.00
		旧稲垣家住宅		160.39
	その他施設	消火栓ポンプ室、稲垣家倉庫ほか		50.95
		なまこ壁の倉（休憩所）		9.72
	小　計		41,352.50	1,878.01
外部収蔵庫			4438.76	428.72
富士川民俗資料館（倉庫含む）			380.86	156.36
合　計			51,123.12	4,651.86

（2） 事業の概要

事業

◇展示

①常設展示

■本館

展示室１　富士に生きる　富士山かぐや姫ミュージアムのすべての展示に共通する大きなテーマは「富士に生きる」。そのテーマを冠する展示室１では、富士山南麓の地質環境と、旧石器時代から近代までのおよそ 16,000 年以上にわたるこの地に暮らした人びとの歴史を紹介する。

展示室２　富士山の玉手箱　当館が収集してきた富士山をモチーフとした絵画や写真、工芸品などの名品を展示するほか、特にテーマ・会期を設けた特集展示も行う。

展示室３　富士山とかぐや姫　富士市には、かぐや姫は月に帰らずに富士山へと帰り、富士山の神となるというストーリーが伝わっている。他に例を見ない筋書きに注目し、展示室３「富士山とかぐや姫」では、『富士山縁起』と呼ばれる、この地域に伝承された貴重な資料などから、富士山とかぐや姫とのつながりを明らかにする。ここではさらに、富士山に対する信仰の姿として、南麓で活動した「村山修験」、富士山と密接にかかわる貴重な信仰行事である「岩淵鳥居講」を取り上げ、世界文化遺産となった富士山の重要性を伝えていく。

展示室４　竹取物語の広がり　日本各地の竹取物語ゆかりの地や関連グッズの紹介のほか、静岡県世界遺産センターと連携した展示を行う。

■分館・歴史民俗資料館

１階フロア　富士市域は、駿河湾の海岸から富士川・潤井川などの河川によるなだらかな扇状地と東部の低湿地、富士山・愛鷹山へと続く斜面の間に広がる。海岸の漁村から最北の山村までの標高差 800 ｍの間、それぞれの地に適したくらしを営んだ人びとの姿を紹介する。

２階フロア　富士山南麓の豊富な森林資源や水を利用して発達してきた紙のまち・富士の歴史や学校教育、子どもの遊びや紙のおもちゃなどを展示する。また、近代の戦争と戦時中のくらしについての展示もある。観覧者に、「紙のまち」というフィルターを通して富士市の近代と未来の姿を考えてもらうことを目指す展示である。

②特別展示（本館）

展示室５　特別展示室・展示室６　多目的室　会期を区切って特定のテーマの展示を行う。特別展示室は気密性の高い特殊な展示ケースを採用しており、貴重な資料を展示することが可能。

③屋外展示

広見公園ふるさと村歴史ゾーン　屋外展示として、市内の貴重な建造物を移築して保存・展示しているほか、道しるべ等石造文化財の移設も行っている。屋外展示によって、動産が中心となる館内展示を補うと共に、緑と歴史の公園として、富士の歴史と文化を楽しみながら学習できる場としている。本館２階エントランスから直接、ふるさと村歴史ゾーンへと出入りすることが可能。

◇教育普及

①市民の歴史に関する知識の普及を図るために、講座・講演会・体験学習等を企画する。また、館報・博物館だより等を刊行する。

②学校教育との連携につとめ、館利用に積極的に対応し、児童生徒の博物館利用を促進する。

③ 博物館活動の一環として、郷土文化工芸団体や文化財愛護研究団体の育成助長につとめ、指導者の資質の向上をはかる。

◇資料の収集・整理・保管

富士市及びその周辺地域の歴史を理解する上で必要な資料を寄贈・購入・寄託等により収集し、整理分類した上で各収蔵庫に保管する。

◇調査研究

資料の収集や分類整理に併せ、展示の準備作業として、また市民の歴史に関する知識の普及に資するため、学術的な調査・研究活動を行う。

資料収集方針と主な収蔵資料

◇民俗資料

昭和 40 年代頃より、高度成長・生活安定の反映として、生活様式の変化を伴う家屋の改廃が増え、多くの民俗資料が破棄される状況の中で、保存の機運が高まる。

・農業用具…稲作及び畑作の農耕用具、浮島沼周辺生産農耕具（県指定）
・漁業用具…富士海岸沿岸で使用された漁具、及び漁船等の資料
・諸職用具…鍛冶、炭焼、山林等の資料
・生活用具…衣、食、住資料

◇美術工芸資料

本館の大テーマ「富士に生きる」に基づき、富士山にかかわりのある美術・工芸作品をはじめ、郷土にゆかりの作家の作品を収集。

・浮世絵…葛飾北斎、歌川広重、徳力富吉郎等の作品
・書及び絵画…鈴木香峰、庵原三山（麗山・泰山・鶴山）、井上恒也等の作品

◇歴史資 (史) 料

宿場関係の野口家文書や中里関家文書等の地方文書を中心に収蔵。

・古文書…野口家、関家、影山家、島崎家等
・富士山関係資料…富士山信仰絵図、富士山古写真等

◇考古資料

昭和 40 年代以降、東名高速道路等の各種建設工事・工場誘致により、埋蔵文化財の発掘調査が盛んに行われた。その際に出土した、集落跡・古墳等の資料を数多く収蔵。

・天間沢遺跡…縄文土器、石器
・三新田遺跡…土師器、須恵器、灰釉陶器
・東平遺跡…土師器、須恵器、鉄器
・東坂古墳…内行花文鏡、四獣鏡、首飾り等
・谷津原１号墳…須恵器、装飾付大刀、砥石、装身具

◇紙関係資料

手漉和紙用具類をはじめ、技術改良の象徴としてのナプキン製造・機械抄製紙の資料等を逐次収集。また、紙に関する工芸品の収集にもつとめる。

・手漉和紙の用具、原料（楮、三椏）、製紙機械、紙工芸品（ダルマ、凧、紙人形他）

富士山かぐや姫ミュージアム

2F

- 1~4 展示室 Exhibition Room
- ⑤ 特別展示室 Special Exhibition Room
- ⑥ 多目的室 Multipurpose Room
- トイレ Restrooms
- 多目的トイレ Accessible Restroom

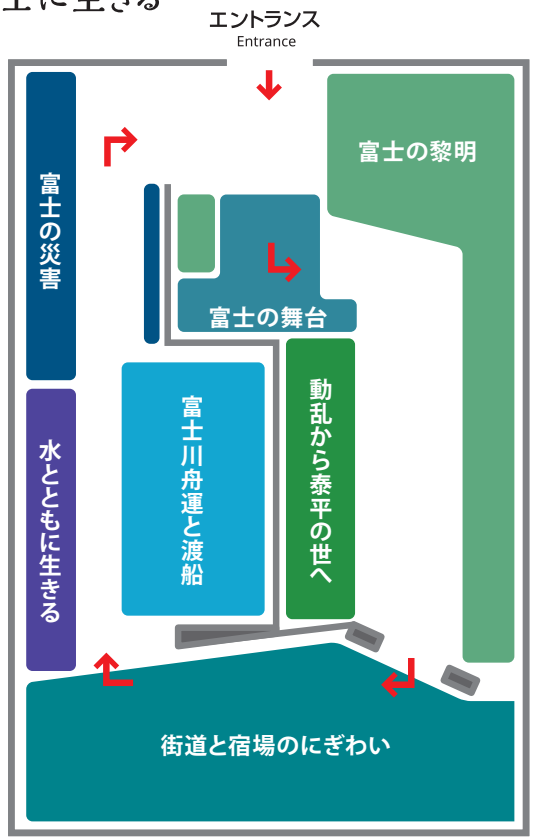
1F

- インフォメーション Information
- トイレ Restrooms
- ライブラリー Library
- 講座室 Lecture Room
- ミュージアムショップ Museum Shop
- 飲み物の自動販売機 Vending Machine of the Drink
- コインロッカー Coin Lockers

1F ホール

展示室1

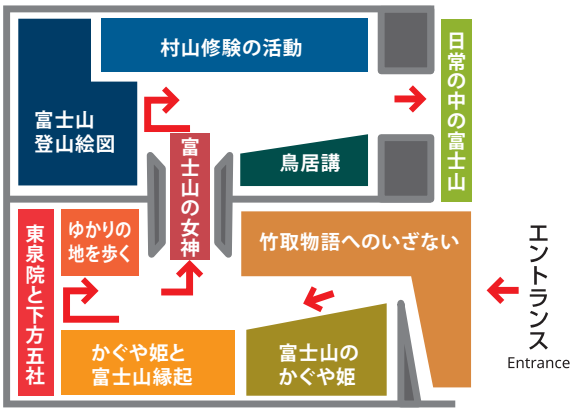
富士に生きる

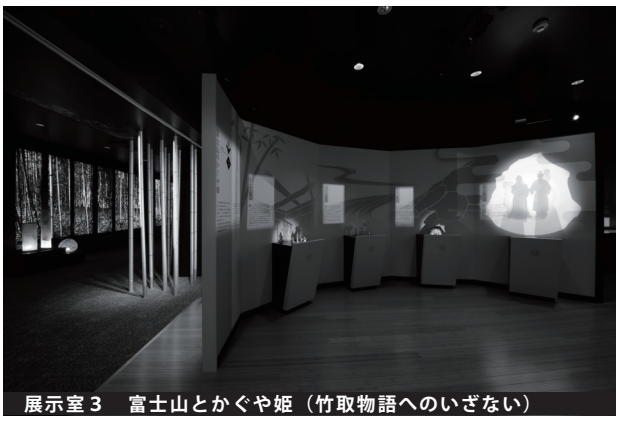


展示室１　富士に生きる（富士の舞台・富士の黎明）

展示室１　富士に生きる（富士川舟運と渡船）

展示室3
富士山とかぐや姫

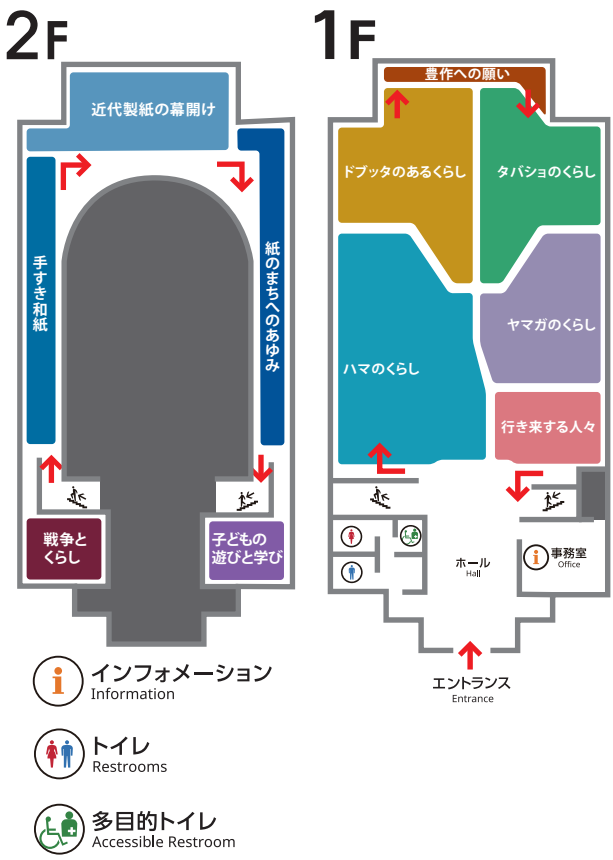


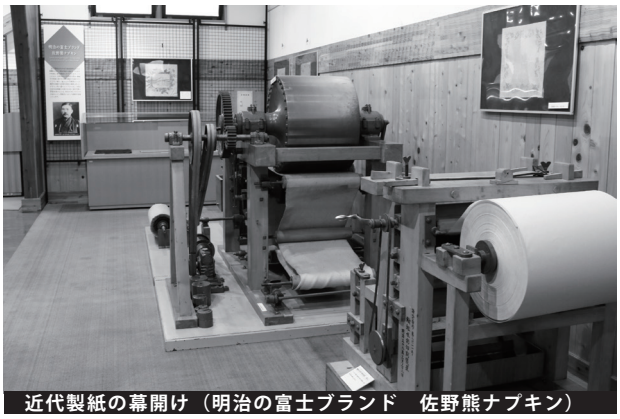

展示室３　富士山とかぐや姫（竹取物語へのいざない）

展示室３　富士山とかぐや姫（鳥居講）

展示室２　富士山の玉手箱

歴史民俗資料館（博物館分館）




近代製紙の幕開け（明治の富士ブランド　佐野熊ナプキン）

子どもの遊びと学び

（３） 資料及び図書収集状況

※令和２年度末現在、六所家旧蔵資料・山﨑家関係資料・植松家関係資料・武田氏関係資料 (富士山コレクション) は含まない。

◇収蔵資料総合計数

	館所蔵	寄託	常設借用	合計
民俗	16,148	307	19	16,474
美術工芸	6,721	69	15	6,805
歴史	22,845	1,361	9	24,125
考古	6,539	2	711	7,252
紙関係	2,334	0	22	2,356
自然	123	1	0	124
視聴覚	597	0	0	591
その他	1	0	0	1
合計	55,308	1,740	776	57,824

◇受入種別所蔵資料数

①館所蔵資料

	寄贈	購入	収集	移管	合計
民俗	13,968	89	0	2,091	16,148
美術工芸	5,594	1,031	0	96	6,721
歴史	20,746	618	0	1,481	22,845
考古	2,921	3	0	3,615	6,539
紙関係	1,879	394	0	61	2,334
自然	25	0	0	98	123
視聴覚	276	106	204	11	597
その他	0	1	0	0	1
合計	45,409	2,242	204	7,453	55,308

②寄贈資料

	前年度迄	令和２年度	累計
民俗	13,418	550	13,968
美術工芸	1,097	4,497	5,594
歴史	19,517	1,229	20,746
考古	2,921	0	2,921
紙関係	1,876	3	1,879
自然	25	0	25
視聴覚	270	6	276
その他	0	0	0
合計	39,124	6,285	45,409

③購入資料

	前年度迄	令和２年度	累計
民俗	89	0	89
美術工芸	1,031	0	1,031
歴史	612	6	618
考古	3	0	3
紙関係	394	0	394
自然	0	0	0
視聴覚	106	0	106
その他	1	0	1
合計	2,236	6	2,242

④収集資料

	前年度迄	令和２年度	累計
視聴覚	204	0	204

⑤移管

	前年度迄	令和２年度	累計
民俗	2,091	0	2,091
美術工芸	96	0	96
歴史	1,481	0	1,481
考古	3,615	0	3,615
紙関係	61	0	61
自然	98	0	98
視聴覚	11	0	11
その他	0	0	0
合計	7,453	0	7,453

⑥寄託資料及び常設展示借用資料

＜令和２年度寄託資料＞

	更新中	新規借用	令和２年度返却	合計
民俗	307	0	0	307
美術工芸	69	2	0	69
歴史	1,322	39	0	1,361
考古	2	0	0	2
紙関係	0	0	0	0
自然	1	0	0	1
視聴覚	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	1,701	39	0	1,740

＜令和２年度常設展示借用資料＞

	更新中	新規借用	令和２年度返却	合計
民俗	19	0	0	19
美術工芸	15	0	0	15
歴史	10	0	1	9
考古	711	0	0	711
紙関係	22	0	0	22
自然	0	0	0	0
視聴覚	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	777	0	1	776

⑦富士市立博物館所蔵資料図書数

	前年度迄	令和２年度受入	合　計
購入	2,519	0	2,519
寄贈	13,174	298	13,472
会員頒布	534	13	547
合計	16,227	311	16,538

＜令和２年度寄贈資料（図書・視聴覚資料は除く＞

受入番号	分野	資　料　名	点数
3103	民俗	リコー製六•六カメラ (RICHO　FLEX)、ミノルタ製 35mm カメラ (MINOLTA　HI-MATICE)、カメラ用三脚、ミノルタ製フラッシュ	4
3104	民俗	薬箱、電気こたつ、電動バリカン、オーブントースター、ホットカーラー、御殿びな一式 (4 箱分)、戸棚、バランスがま	8
3105	歴史	[松永家旧蔵資料] 三條實美遺贈品　鼓型金上絵付き皿 (箱入り)、三條實美遺贈品　彫金蓋付小物入、漆塗り家紋付き丸高坏 1 対 (箱入り)、漆塗り家紋付き霊供膳 2 組 (箱入り)、第 11 世松永安正・一子夫妻結婚式フィルム (2 本、昭和 15 年撮影)	6
3106	民俗	日立製ラジカセ	1
3107	紙	大正拾年白三椏賈上貫目控帳	1
3108	美術	野田好子「半跏像」油彩画、小山もと子「四季のハーモニー」型染	2
3109	民俗	カツオ節削り器	1
3110	民俗	電気あんか	1
3111	民俗	脱脂粉乳用ミルクポット	1
3112	民俗	SONY 製ステレオカセットコーダー、ポラロイドカメラ (i-zone) フィルム付、ジャトコ製 GPS ナビ	3
3113	歴史	田子浦村立田子浦中学校『本校における道徳教育』(S26 頃)、田子浦小学校『蘇鉄 - 新校舎とともに -』(S45)、吉原市立大淵第一小学校卒業文集『故郷』(S39 年度)、大淵第一小学校 3 年 2 組文集『さくら』、『げんば - 研究と実践記録 - 第一集』(S35 年度)、『げんば - 研究と実践記録 - 第六集』(S39 年度)	6
3114	民俗	松下製 98 年製造ブラウン管テレビ (リモコン付)	1
3116	民俗	耐圧電話機、SONY 製テープレコーダー (付属品有)	2
3117	民俗	デスクトップパソコン、SONY 製カセットプレーヤー、ワープロ、ゲームボーイ初期型 (AC アダプタ付)、ゲームボーイカラー、ゲームボーイアドバンスＳＰ、ゲームボーイカセット (12 枚・内カラー用 5 枚)、8 ミリビデオカメラ、ハードケース型 DVD、フロッピーディスク 3.5 インチ、フロッピーディスク 5.25 インチ (6 枚・箱付)、フロッピーディスク 5.25 インチ (2 枚)、フロッピーディスク 8 インチ (10 枚入り・未開封)、フロッピーディスク 8 インチ (3 枚)、NEC 製ノートパソコン、Cannon 製デジタルカメラ、富士フィルム製ポラロイドカメラ、ワープロ用感熱紙 (1 締)	37
3118	民俗	[浮島の農具] ナラシ (2 本)、エブリ、オニバ 櫂棒 (醤油作り用)	5
3119	美術	清水緑『冨嶽真景』、冨嶽真景第壹集、冨嶽真景第貳集、冨嶽真景第参集、冨嶽真景第四集	5
3120	歴史	松永分家旧蔵資料一式	1,195
3121	美術	野田好子「道」1956 年	1
3122	民俗	小絵馬一式 (絵馬資料付)	386
3123	民俗	円形パズル (戦時中)	2
3124	歴史	岳南電車ふじかぐちゃん全線 1 日フリー乗車券 (2 枚)、岳南電車ふじかぐちゃん普通入場券比奈駅 (3 枚)	5
3125	美術	二重作龍夫「希望不尽」油彩キャンパス額装	1
3126	民俗	電話のかけ方シート	1
3127	民俗	謄写版 B4 サイズ、謄写版はがきサイズ (S44.2.1 等の記述有)	2
3128	民俗	謄写版はがきサイズ (附鉄筆原紙)	1
3129	紙	三椏蒸し釜用蒸し器 (蒸し桶)、三椏蒸し釜用大釜 (ハソリ)	2
3130	民俗	16 ミリフィルム映写機	1
3131	歴史	教科書『小学人体部分問答』明治 9 年、『代数要領　巻四』明治 10 年、『高等小学理科　家事教科書　第二学年児童用』大正 4 年、『静岡県水産誌　巻二』明治 27 年、『改正教授術続編　巻一』、『小学国史教師用書　上巻』昭和 6 年	6
3132	民俗	ジャガー軟膏シール (2 枚)、桃屋おたのしみマンガシール (2 枚)、虫プロのＷ 3 (ワンダースリー) すごろく、ブラザー製品パズル、グズラ山すごろく、青い鳥ラリーゲーム、こいでのすごろく巨人の星 (外袋付)、一円硬貨 (昭和 23 年・昭和 24 年)、五十銭硬貨 (昭和 22 年 3 枚・昭和 23 年 4 枚)、五十銭硬貨 (昭和 21 年)、五十銭硬貨 (昭和 23 年)、十銭硬貨 (昭和 20 年)、十銭硬貨 (昭和 15 年)、十銭硬貨 (昭和 19 年)、十銭硬貨 (大正 12 年・大正 15 年)、五銭硬貨 (昭和 15 年)、五銭硬貨 (昭和 17 年)、五銭硬貨 (大正 10 年・大正 12 年)、一銭硬貨 (昭和 12 年・昭和 19 年 7 枚)、一銭硬貨 (昭和 16 年・昭和 17 年 3 枚・昭和 18 年)、一銭硬貨 (昭和 13 年・昭和 15 年 2 枚)、一銭硬貨 (大正 8 年・大正 10 年・大正 12 年・昭和 12 年・昭和 13 年)	56
3133	民俗	落雁の型	35
3134	歴史	静岡県富士郡須津村地番反別入図	1
3135	歴史	[富士川第二小学校資料] 開校当時の机、開校当時の長いす、開校当時のいす (3 脚)、表札「静岡縣庵原郡松野村國民学校」、表札「松野村立青年学校」、五榜の掲示第一札、五榜の掲示第二札、五榜の掲示第三札	10
3136	民俗	カセットテープボックス (テープ 10 本入)、プリントゴッコ PG-10(本体・インク)	2
3032	美術	小山もと子富士の型染作品関係資料一式（平成 29 年度受入分）	4,488

（４） 富士市立博物館条例・規則

○富士市立博物館条例

昭和 55 年 12 月 13 日
条例第 30 号

（趣旨）
第１条　この条例は、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。）に基づき博物館の設置及び管理等について必要な事項を定めるものとする。
（設置）
第２条　富士市に博物館を設置する。
２　博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
富士市立博物館	富士市伝法 66 番地の２

３　博物館に分館を置く。
４　前項に規定する分館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
富士市立歴史民俗資料館	富士市伝法 86 番地の７
富士市立富士川民俗資料館	富士市岩淵８番地の１

（一部改正〔平成６年条例 41 号・20 年 80 号〕）
（事業）
第３条　富士市立博物館（以下「博物館」という。）は、次に掲げる事業を行う。
（１）　考古、歴史、民俗、産業等に関する実物、模型、模写、文献、図表、写真等の博物館資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
（２）　博物館資料の利用に関し、必要な説明、助言、指導等を行うこと。
（３）　博物館資料に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
（４）　博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
（５）　博物館資料に関する案内書、解説書、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
（６）　博物館資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
（７）　他の博物館と協力し、情報の交換、資料の相互貸借等を行うこと。
（８）　学校、図書館等と協力し、その活動を援助すること。
（９）　博物館活動の講座、実習等のため施設を提供すること。
（10）　前各号に定めるもののほか、富士市教育委員会（以下「委員会」という。）が必要があると認める事業
（一部改正〔平成 19 年条例 26 号〕）
（職員）
第４条　博物館に法第４条第１項、第３項及び第５項に規定する館長、学芸員その他必要な職員を置く。
（入館の制限）
第５条　委員会は、次の各号の一に該当するときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。
（１）　展示品等を汚損し、又はき損するおそれのあるとき。
（２）　館内の秩序を乱し、又は入館者に迷惑をかけるおそれがあると認められるとき。
（３）　その他管理上支障があると認められるとき。
（特別展観覧料）
第６条　博物館の特別展の展示品等を観覧しようとする者は、別表に定める特別展観覧料を納めなければならない。
２　市長は、特別の理由があると認めるときは、前項に規定する特別展観覧料を減免することができる。
（一部改正〔平成 20 年条例 80 号・27 年 53 号〕）
（既納の特別展観覧料）
第７条　既納の特別展観覧料は、返還しない。ただし、市長は、特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができ　る。
（一部改正〔平成 27 年条例 53 号〕）
（使用の許可）
第８条　博物館の講座室及び実習室等（以下「博物館の施設」という。）を使用しようとするときは、委員会の許可を受けなければならない。
（使用許可の制限）
第９条　委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、博物館の施設の使用を許可しないものとする。
（１）　公の秩序又は善良な風俗を害するおそれのあるとき。
（２）　集団的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
（３）　施設、設備、展示品等を損傷するおそれのあるとき。
（４）　その他管理上支障があると認められるとき。
（一部改正〔平成 24 年条例 31 号〕）
（目的外使用、権利譲渡等の禁止）
第 10 条　第８条の規定に基づき使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、博物館の施設を許可された目的以外に使用し、又はその権利を譲渡し、若しくは転貸することができない。
（造作上の制限）
第 11 条　使用者は、博物館の施設を使用するため、特別の設備をし、又は造作を加えようとするときは、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。
（使用許可の取消等）
第 12 条　委員会は、次の各号の一に該当するときは、使用の許可を取り消し、又は使用を停止し、若しくは使用の制限をすることができる。
（１）　この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
（２）　第９条各号に該当する理由が発生したとき。
（３）　使用許可の条件に違反したとき。
（原状回復の義務）
第 13 条　使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき又は前条の規定により使用許可を取り消され、若しくは使用を停止されたときは、直ちにこれを原状に回復しなければならない。
（損害賠償）
第 14 条　観覧者又は使用者は、博物館の施設、設備、展示品等を損傷し、又は滅失したときは、その損害について、市長が定める額を賠償しなければならない。
２　第 12 条の規定に基づく使用の許可の取消し等によつて使用者が被つた損害については、市は、その賠償の責めを負わない。
（一部改正〔平成 24 年条例 31 号〕）
（博物館協議会）
第 15 条　法第 20 条第１項の規定により、博物館に富士市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。
２　協議会は、委員 10 人以内で組織する。
３　委員は、次に掲げる者のうちから委員会が委嘱し、又は任命する。
（１）　学校教育及び社会教育の関係者
（２）　家庭教育の向上に資する活動を行う者
（３）　学識経験者
（４）　公募による市民
４　委員の任期は、２年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
５　協議会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。
（一部改正〔平成 24 年条例 20 号〕）
（委任）
第 16 条　この条例に定めるもののほか、この条例の施行について必要な事項は、委員会の規則で定める。

附　則
この条例は、昭和 56 年４月１日から施行する。
附　則（平成６年９月 29 日条例第 41 号）
この条例は、平成６年 11 月 16 日から施行する。
附　則（平成 19 年９月 28 日条例第 26 号）
この条例は、平成 20 年４月１日から施行する。
附　則（平成 20 年９月 30 日条例第 80 号）
この条例は、平成 20 年 11 月１日から施行する。
附　則（平成 24 年３月 29 日条例第 20 号）
１　この条例は、平成 24 年４月１日から施行する。
２　この条例の施行の際現に改正前の富士市立博物館条例第 15 条第２項の委員である者は、その任期中に限り、改正後の富士市立博物館条例第 15 条第２項の委員とみなす。
附　則（平成 24 年６月 29 日条例第 31 号）
この条例は、公布の日から施行する。
附　則（平成 27 年 10 月 15 日条例第 53 号）
この条例は、平成 28 年４月 29 日から施行する。

別表（第６条関係）
（全部改正〔平成 27 年条例 53 号〕）
特別展観覧料

区分		金額
個人	小人	市長が別に定める額
	大人	
団体	20 人以上１人につき	個人に係る所定の特別展観覧料の６割に相当する額

備考
１　小人とは、小学校の児童及び中学校の生徒をいい、大人とは、小人及び小学校就学前の児童を除いた者をいう。
２　市内の小学校又は中学校の教育課程に基づく学習活動として入館する場合は、児童又は生徒及び引率者の特別展観覧料は、免除する。

○富士市立博物館条例施行規則

昭和 56 年３月 25 日
教育委員会規則第５号
〔注〕平成９年から改正経過を注記した。

（趣旨）
第１条　この規則は、富士市立博物館条例（昭和 55 年富士市条　例第 30 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項　を定めるものとする。
（開館時間）
第２条　富士市立博物館（以下「博物館」という。）の開館時間は、次のとおりとする。ただし、富士市教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認めたときは、これを変更することができる。
（1）　夏期（４月から 10 月まで）午前９時から午後５時まで
（2）　冬期（11 月から翌年３月まで）午前９時から午後４時 30 分まで
（休館日）
第３条　博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。
（１）　月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に定める休日に当たる日は、火曜日）
（２）　国民の祝日に関する法律に定める休日の翌日
（３）　12 月 28 日から翌年１月４日まで
（特別展観覧券）
第４条　条例第６条第１項の規定による特別展観覧料の納付は、富士市立博物館特別展観覧券（第１号様式）によるものとする。ただし、団体が観覧しようとする場合は、富士市会計規則（昭和 41 年富士市規則第 22 号）第８条の規定により取り扱うものとする。
（一部改正〔平成 27 年教委規則 10 号〕）
（特別展観覧料の減免）
第５条　条例第６条第２項の規定による特別展観覧料の減免は、次の各号による。
（１）　身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第４項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）第 12 条第１項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法（昭和 35 年法律第 37 号）第 12 条第１項に　規定する知的障害者更生相談所において知的障害との判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条第２項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの者の介護者が観覧する場合　全額
（２）　児童扶養手当法（昭和 36 年法律第 238 号）による児童扶養手当証書の交付を受けている者及びその扶養している児童が観覧する場合　全額
（３）　生活保護法（昭和 25 年法律第 144 号）第６条第１項に規定する被保護者が観覧する場合　全額
（４）　市で全国又は県下大会等公的催しが行われ関係者が観覧する場合　全額
（５）　その他特別の理由があると認める場合　全額又は２分の１の額
（一部改正〔平成 27 年教委規則 10 号・令和３年３号〕）
（使用許可の申請）
第６条　条例第８条の規定により博物館の施設の使用の許可を受けようとする者は、富士市立博物館使用許可申請書（第２号様式）を委員会に提出しなければならない。
２　前項に規定する申請書の提出は、使用日前２週間までとする。ただし、委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。
（使用の許可）
第７条　委員会は、前条第１項に規定する申請書の提出があつたときは、これを審査し、適当と認めたときは、富士市立博物館使用許可書（第３号様式）を交付する。
（使用許可の取消し等の願出）
第８条　博物館の施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）が、その取消し又は変更を願い出ようとするときは、使用日前５日までに富士市立博物館使用許可取消し・変更願（第４号様式）に富士市立博物館使用許可書を添えて委員会に提出しなければならない。
（遵守事項）
第９条　観覧者及び使用者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。
（１）　施設、設備、展示品等を汚損し、又は損傷しないこと。
（２）　所定の場所以外において火気を使用しないこと。
（３）　許可を受けないで展示品の模写又は撮影をしないこと。
（４）　許可を受けないで募金若しくは図録の販売又はこれらに類する行為をしないこと。
（５）　前各号に定めるもののほか、管理上必要な指示に反する行為をしないこと。
（博物館協議会）
第 10 条　会長は、会務を総理し、富士市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を代表する。
２　会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指定する委員がその職務を代理する。
第 11 条　会長は、協議会を招集し、会議の議長となる。
２　協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
３　協議会の議事は、出席した委員の過半数をもつて決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

附　則
この規則は、昭和 56 年４月１日から施行する。

附　則（平成元年１月 19 日教委規則第１号）
この規則は、公布の日から施行する。

附　則（平成９年３月 24 日教委規則第１号）
１　この規則は、平成９年４月１日から施行する。
２　この規則の施行の際、改正前の規則の様式により作成されている用紙は、当分の間、調整して使用することができる。

附　則（平成 17 年２月 24 日教委規則第１号）
この規則は、平成 17 年４月１日から施行する。

附　則（平成 27 年 10 月 15 日教委規則第 10 号）
この規則は、平成 28 年４月 29 日から施行する。

附　則（令和３年３月 22 日教委規則第３号）
この規則は、令和３年４月１日から施行する。

第１号様式（第４条関係）
（一部改正〔平成 27 年教委規則 10 号〕）

富士市立博物館特別展観覧券　　¥
１人１回限り
月　　日　　№（通し番号）

第２号様式（第６条関係）
（一部改正〔平成９年教委規則１号・17 年１号〕）

富士市立博物館使用許可申請書
年　　月　　日

（あて先）富士市教育委員会

住所（所在地）
申請者
氏名（名称及び代表者）

次のとおり博物館を使用したいので、申請します。
記

日　　時	
施　　設	
目　　的	
内　　容	
人　　員	
特別設備の有無	

第３号様式（第７条関係）

富士市立博物館使用許可書

第　　号
年　　月　　日

様

富士市教育委員会　印

年　　月　　日付け申請のあった博物館の使用については、次のとおり許可します。

記

日　　時	
施　　設	
目　　的	
人　　員	
使用許可の条件	

第４号様式（第８条関係）
（一部改正〔平成９年教委規則１号・17 年１号〕）

富士市立博物館使用許可取消し・変更願

年　　月　　日

（あて先）富士市教育委員会

住所（所在地）
願出者
氏名（名称及び代表者）

年　　月　　日付け　　第　　号をもって許可のあった博物館の使用について、次のとおり取消し・変更をしたいので願い出ます。

記

取消し・変更の理由
変更の内容

4　展示会・刊行物一覧

（１）　展示会一覧

	会期	展示会名		日数	入場者数	１日平均
1	S56　4.25　～　6.14	第１回企画展	開館記念展　富士市の文化財	41	11,258	281
2	7.21　～　9.6	第２回企画展	紙のあゆみ	40	6,091	145
3	11.3　～　12.22	市政 15 周年記念第１回特別展	仏像の源流	41	6,293	153
4	S57　1.7　～　2.18		新春寄贈絵画展	35	1,624	46
5	4.23　～　5.30	第３回企画展	富士市の沿岸漁業	30	6,000	200
6	7.1　～　7.15		第２回寄贈品展（美術工芸）	13	495	38
7	7.24　～　8.31	第４回企画展	手漉きのせかい	33	3,013	91
8	9.19　～　10.23		第１回富士山写真展	28	2,424	87
9	11.3　～　12.15	第２回特別展	街道と宿場	35	5,789	165
10	S58　1.5　～　2.13		寄贈展　和船	33	2,203	67
10	S58　1.5　～　2.13		和紙人形展	33	2,203	67
11	4.24　～　6.5	第５回企画展	山の仕事とくらし―富士・愛鷹山麓を中心に―	34	7,155	210
12	7.17　～　8.31	第６回企画展	紙の衣料	39	2,717	70
13	9.6　～　10.10		第１回富士の型染秀作展	29	2,068	71
14	9.20　～　11.3		第２回富士山写真展	35	2,934	84
15	11.1　～　12.11	第３回特別展	東海のやきもの	34	3,370	99
16	S59　1.8　～　2.26	第１回テーマ展	市内の道しるべを訪ねて	41	1,504	37
16	S59　1.8　～　2.26		日本のだるま	41	1,504	37
17	3.20　～　7.1	第７回企画展	三新田遺跡	88	9,864	112
18	7.20　～　8.31	第８回企画展	きんからわし	37	2,821	103
19	9.7　～　10.7		富士の型染	25	1,110	44
20	10.17　～　12.9	第９回企画展	浮島沼と米づくり	45	5,383	119
21	12.13　～　S60　1.15		フラワーデザイン展	22	913	42
21	12.13　～　S60　1.15		第３回富士山写真展	22	913	42
22	S60　2.1　～　3.3		縄文土器づくり作品展	25	1,351	54
23	3.20　～　5.26	第 10 回企画展	富士の古墳文化	55	8,778	160
24	6.4　～　7.10		館蔵品展	32	1,053	33
25	7.23　～　8.31	第 11 回企画展	紙のおもちゃ	35	4,465	128
26	9.10　～　10.10		くらしの中の富士の型染展	23	1,803	78
27	10.22　～　12.1	第 12 回企画展	浮世絵に描かれた郷土	34	3,426	101
28	12.10　～　S61　1.15		和紙人形展	25	1,365	55
29	1.28　～　2.28		第４回富士山写真展	27	2,557	95
30	3.21　～　5.25	第 13 回企画展	天間沢遺跡	53	6,494	122
31	6.3　～　7.6		寄託・寄贈品展	30	1,033	34
32	7.15　～　8.31	第 14 回企画展	折り紙	42	4,845	115
33	9.9　～　10.10		くらしの中の富士の型染展	26	1,393	54
34	10.21　～　12.7	新市 20 周年記念展	わが家の家宝と富士の今昔	40	4,081	102
35	12.14　～　S62　1.11		フラワーデザイン展	18	508	28
36	S62　1.15　～　2.11		第５回富士山写真展	23	2,023	88
37	4.6　～　5.24		第１回郷土の作家展	40	8,149	203
38	6.4　～　7.12		寄贈品展	34	2,314	68
39	7.26　～　9.6	第 15 回企画展	版画・浮世絵に描かれた富士	37	3,413	92
40	9.20　～　10.18		富士の型染のれん展	23	1,754	76
41	11.1　～　S63　1.17	第 16 回企画展	郷土の俳人	58	3,477	59
42	S63　1.31　～　3.6		第６回富士山写真展	30	2,725	90
43	3.20　～　5.22	第 17 回企画展	富士市の埋蔵文化財　富士市のあけぼの	50	8,568	171

	会期		展示会名	日数	入場者数	1日平均
44	5.28 ～ 6.2		禮文窯作品展	5	467	93
45	6.5 ～ 7.3		愛・和紙人形展	25	2,053	82
46	7.17 ～ 8.31		第2回郷土の作家展	39	4,281	110
47	9.9 ～ 9.23		富士文庫寄贈図書展	12	1,366	114
48	10.4 ～ 11.23	第18回企画展	郷土ゆかりの武者絵	42	3,907	93
49	12.1 ～ H1 1.22	第19回企画展	あかりとくらし	38	2,846	75
50	H1 1.29 ～ 3.5		第7回富士山写真展	29	2,835	98
51	3.19 ～ 5.21	第20回企画展	富士川水系の手漉和紙	50	7,810	156
52	5.28 ～ 7.16		第3回郷土の作家展	43	5,002	116
53	7.23 ～ 8.3		禮文窯作品展	10	1,254	125
54	8.9 ～ 9.3		和紙人形展―富士の竹取物語―	23	4,091	178
55	9.10 ～ 10.1		「紙」と富士の型染展	17	2,634	154
56	10.10 ～ 11.30	第4回特別展	井上恒也	42	5,204	124
57	12.8 ～ H2 1.15		寄贈品展	25	1,990	79
58	H2 1.23 ～ 2.28		第8回富士山写真展	31	3,786	122
59	3.13 ～ 5.20	第21回企画展	くらしのなかの着物	55	9,634	175
60	5.26 ～ 7.22		第4回郷土の作家展	50	5,397	108
61	7.24 ～ 8.5		禮文窯作品展	12	1,278	106
62	8.11 ～ 9.30		館蔵品展	42	4,041	96
63	10. 5 ～ 11.11		第1回紙の造形展	31	6,702	216
64	11.17 ～ H3 1.6		第9回富士山写真名品展	35	3,189	91
65	H3 1.13 ～ 3.17	第22回企画展	曽我物語	53	5,016	95
66	3.24 ～ 5.26	第23回企画展	富士市の製紙業	44	7,827	178
67	6.1 ～ 7.28		第5回郷土の作家展	47	4,686	100
68	8.3 ～ 9.8		第10回富士山写真名品展	32	3,901	122
69	9.14 ～ 10.27		寄贈品展～春夏秋冬の民具を中心に～	35	3,907	111
70	11.1 ～ 12.1	小企画展	古地図展	25	4,033	161
71	12.8 ～ H4 2.16	第24回企画展	大むかしの技術～石器とくらし～	49	3,908	80
72	H4 2.22 ～ 3.8		第2回子ども紙の造形展	14	2,271	162
73	3.15 ～ 5.20	第25回企画展	はかる道具のいろいろ	53	8,822	166
74	5.20 ～ 5.31	特別公開	東平第1号墳出土品展	11	1,640	149
75	5.27 ～ 7.19		第6回郷土の作家展	43	5,032	117
76	7.26 ～ 10.4	第26回企画展	むかしの旅・いまの旅	58	6,160	106
77	9.26 ～ 10.24		第1回移動博物館　於：田子浦公民館	26	1,890	73
78	10.10 ～ 12.6		第11回富士山写真名品展	45	7,007	156
79	12.13 ～ H5 1.31		拓本・紙のフラワー展	35	2,256	64
80	H5 2.7 ～ 2.21		第3回子ども紙の造形展	12	2,488	207
81	2.28 ～ 5.16	第27回企画展	水とくらし	63	7,904	125
82	5.23 ～ 6.23	第5回特別展	山本秀陽書道展	27	3,708	137
83	6.16 ～ 6.30		全国手漉和紙展	14	1,308	93
84	6.27 ～ 7.11		禮文窯展	13	1,389	106
85	7.13 ～ 7.31		第2回移動博物館　於：東公民館	14	538	38
86	7.18 ～ 9.19	第28回企画展	おもちゃ文化史	54	6,992	129
87	9.26 ～ 10.27		第7回郷土の作家展	26	3,857	148
88	10.31 ～ 11.28		寄贈品展	23	4,112	178
89	12.5 ～ H6 1.30		第12回富士山写真名品展	39	3,686	95
90	H6 2.6 ～ 2.20		第4回子ども紙の造形展	12	2,880	240
91	2.27 ～ 5.15		マチに生きる人々	63	10,284	163
92	3.11 ～ 4.9		第3回移動博物館　於：須津公民館	25	843	33
93	5.22 ～ 6.26		第8回郷土の作家展	28	3,164	113
94	7.3 ～ 8.14		第13回富士山写真展	35	3,886	111
95	7.27 ～ 8.8		第4回移動博物館　於：岩松公民館	11	287	26
96	8.20 ～ 9.11		富士山俳句展	20	1,700	85
97	9.17 ～ 10.2		和紙人形展	13	1,356	104
98	10.8 ～ 10.23		富士の型染展	13	1,622	125
99	10.30 ～ H7 1.29	第29回企画展	近年の埋蔵文化財緊急報告	68	5,482	81
100	H7 2.5 ～ 2.26		第5回子ども紙の造形展	17	3,013	272
101	3.5 ～ 5.21	第30回企画展	富士山信仰と富士塚	62	15,716	253
102	5.17 ～ 6.11		禮文窯展	14	4,954	124
103	6.17 ～ 7.16		第14回富士山写真展	26	1,965	76
104	7.25 ～ 11.5	第31回企画展	お母さんの小さな歴史～女性の通過儀礼～	86	5,073	59
105	9.6 ～ 10.3		第5回移動博物館　於：吉永北公民館	22	1,145	52
106	11.11 ～ 12.13		第9回郷土の作家展	25	1,952	78
107	12.17 ～ H8 2.4		寄贈品展	34	1,120	33
108	H8 2.10 ～ 2.25		第6回子ども紙の造形展	13	2,029	156
109	3.5 ～ 5.26	第32回企画展	浮島沼―開拓のあゆみと農民の苦闘―	68	5,581	82
110	6.2 ～ 6.30		第15回富士山写真展	25	1,565	63
111	7.9 ～ 10.20	第33回企画展	郷土と酒～富士の麓の酒物語～	88	3,461	39
112	10.27 ～ H9 1.26		第10回郷土の作家展	39	3,285	84
113	H9 2.1 ～ 3.9		館蔵品展	31	1,600	52
114	3.18 ～ 6.1	第34回企画展	富士川の舟運	63	6,623	105
115	6.8 ～ 7.13		第16回富士山写真展	31	1,765	57
116	6.12 ～ 7.8		見に！ミニ博物館（第6回移動博物館）　於：富士南公民館	23	696	30

	会期	展示会名		日数	入場者数	1日平均
117	7.20 ～ 8.31	第１回かみ ing 博物館		36	1,501	42
118	9.9 ～ 11.9	第 35 回企画展	夢を紡いだ時代―旧富士郡下の蚕糸業とその周辺―	50	2,010	40
119	11.18 ～ H10 1.18	第１回富士沼津三島三市博物館共同企画展	目いっぱい！腹いっぱい！東海道	44	1,301	30
120	H10 2.1 ～ 3.8		寄贈品展	27	1,124	42
121	3.17 ～ 5.31	第 36 回企画展	うまれかわる紙	61	6,357	104
122	6.7 ～ 7.12		第 17 回富士山写真展	31	1,071	47
123	6.10 ～ 6.29		見に！ミニ博物館 (第７回移動博物館)　於：吉原公民館	18	290	
124	7.20 ～ 8.30	第２回かみ ing 博物館	紙のまちのいろんな仕事	35	1,485	42
125	9.8 ～ 11.15	第 37 回企画展	加島 米と水～富士川下流の米作り～	57	1,995	35
126	11.23 ～ H11 1.31	第２回富士沼津三島三市博物館共同企画展	海・ヒト・山・マチの民間信仰	51	1,616	32
127	H11 2.16 ～ 5.30		春の館蔵品展－観る・登る・拝む富士－	85	4,881	57
128	7.1 ～ 8.29	第３回かみ ing 博物館	わっ！知ってる？和紙のこと	51	1,602	31
129	9.7 ～ 10.31	第３回富士沼津三島三市博物館共同企画展	富士・愛鷹・箱根山麓の縄文時代	45	1,758	39
130	11.13 ～ H12 2.6		寄贈品展	63	1,370	22
131	H12 2.5 ～ 2.27		新春新着資料特別展示	－	－	－
132	3.7 ～ 5.7	第 38 回企画展	富士がゆれた時～宝永の富士山噴火と安政大地震～	53	4,357	82
133	5.20 ～ 7.6		20 世紀 写真のなかの富士―学び舎のあの日―	41	1,292	32
134	7.15 ～ 9.3	第４回紙 ing 博物館	ちょっと気になる木じゃない紙	43	1,411	33
135	9.12 ～ 11.12	第４回富士沼津三島三市博物館共同企画展	くらしを支えた職人	51	1,419	28
136	H13 1.5 ～ 3.4	新春館蔵品展	駿河の大地主 松永家の百年	49	2,259	46
137	3.13 ～ 5.6	第 39 回企画展	幕末の問屋役　吉原宿の鈴木香峰	46	2,973	65
138	5.19 ～ 7.1		寄贈品展	38	1,317	35
139	7.14 ～ 9.2	第５回紙 ing 博物館	くるくるめぐる紙のリサイクル	43	1,662	39
140	9.11 ～ 11.11	第５回富士沼津三島三市博物館共同企画展	水とくらす　水にあそぶ	52	1,712	33
141	11.17 ～ 12.16		なつかしの映画ポスター展	25	1,099	40
142	H14 1.5 ～ 3.3		20 世紀写真のなかの富士Ⅱ―東海道の町なみ―	48	3,584	75
143	3.12 ～ 5.6	第 40 回企画展	刻・刷・伝～紙と印刷をめぐって～	47	3,066	65
144	5.18 ～ 6.23		館蔵品展　郷土の情景―館蔵浮世絵・木版画展―	32	1,032	32
145	7.13 ～ 9.1	第６回紙 ing 博物館	紙のリサイクル２ 昔の人の知恵？	44	1,700	39
146	9.10 ～ 11.10	第６回富士沼津三島三市博物館共同企画展	石は語る－祈りと想い－	50	2,059	50
147	H15 1.5 ～ 3.2		20 世紀写真のなかの富士Ⅲ―近代産業と交通―	47	1,843	47
148	3.11 ～ 5.5	第 41 回企画展	おしゃれな原始・古代人	47	5,573	119
149	5.17 ～ 6.5	小展示春の部	紙と遊ぶ～なつかしいおもちゃ～	26	1,213	47
150	7.5 ～ 8.31	第７回紙 ing 博物館	えっ！こんなに！地球にやさしい紙づくり	49	1,952	40
151	9.13 ～ 11.19	第７回富士沼津三島三市博物館共同企画展	竹の今昔物語	46	2,142	47
152	11.22 ～ 12.14	小展示秋の部	技を支えた道具たち	19	454	24
153	H16 1.6 ～ 2.29		寄贈品展	46	1,633	36
154	3.16 ～ 5.5	第 42 回企画展	いのりとまじないの世界	45	3,419	76
155	5.22 ～ 6.20		思い出の玉手箱～おもちゃいろいろ～	26	1,213	47
156	7.10 ～ 8.31	第８回紙 ing 博物館	へぇ～！もえない紙にとけちゃう紙？いろんな紙集合！！	44	1,413	32
157	9.11 ～ 11.7	第８回富士沼津三島三市博物館共同企画展	暮らしの中の食文化	48	2,207	46
158	11.20 ～ 12.23		暮らしの道具のうつりかわり	28	446	15
159	H17 1.15 ～ 2.13	日露友好 150 周年記念特別展	ディアナ号の軌跡～日露友好の幕開け～	26	2,947	113
160	3.12 ～ 5.8	第 43 回企画展	描かれた富士のふもと	49	2,872	87
161	5.21 ～ 7.10		衣服のぬくもり～おさいほうの技術と歴史～	39	1,155	30
162	7.23 ～ 9.4	夏のテーマ展	岳南地域の古代遺跡	44	1,259	33
163	9.17 ～ 12.18	第９回富士沼津三島三市博物館共同企画展	子どもの風景～教育の風景いま・むかし～	48	2,579	47
164	H18 1.18 ～ 3.4		まちに根づく仏さまの伝説	40	1,053	26
165	3.18 ～ 5.21	第 44 回企画展	人とともに生きる植物①　富士の茶	61	5,712	93
166	6.3 ～ 7.9		日本三大仇討　曽我伝説	26	991	37
167	7.2 ～ 10.15		なつかしの風景	72	3,975	55
168	10.28 ～ 11.26	市制 40 周年記念特別展	富士山ゆかりの名品展～富士を語る・敬う・形どる～	24	1,263	53
169	12.16 ～ H19 2.25	第 10 回富士沼津三島三市博物館共同企画展	米・コメ・こめ～米に囲まれた暮らし	53	1,120	21
170	H19 3.17 ～ 5.20	第 45 回企画展	村絵図を歩く	56	4,183	74
171	5.30 ～ 7.8		頼朝がみた富士	29	719	25
172	7.14 ～ 9.24		天体にまつわる年中行事	61	1,685	28
173	10.6 ～ 12.2	第 11 回富士沼津三島三市博物館共同企画展	遥かなる東海道～富士・沼津・三島の記録	48	2,321	48
174	12.15 ～ H20 3.2		富士山東泉院の歴史―六所家総合調査速報展―	57	1,796	31
175	H20 3.15 ～ 5.18	第 46 回企画展	富士山麓に生きる～大淵のくらしと稲垣家	44	3,144	71
176	3.20 ～ 4.22	無料パネル展	写真でたどる富士の風景　於：広見公園歴史ゾーン	-	-	-
177	5.31 ～ 7.6		古写真と絵画に見る富士	26	802	31
178	7.19 ～ 9.23	第 12 回富士沼津三島三市博物館共同企画展	あそび歳時記	55	1,715	31
179	10.11 ～ 12.21		映像にのこされた富士	59	2,151	36
180	H21 1.6 ～ 3.8		富士山の法印さん―大宝院秋山家資料展―	52	1,446	52

	会期			展示会名		日数	入場者数	1日平均
181		3.21	～ 5.10	第47回企画展	富士川を渡る歴史	46	4,745	103
182		4.4	～ 5.24	ふるさと村パネル展	はこぶ。　於：広見公園歴史ゾーン	46	-	-
183		5.23	～ 7.5		富士市の遺跡	32	944	29
184		7.18	～ 8.30		富士を愛でる～服部和彦コレクション展	37	912	25
185		9.12	～ 11.29	第13回富士沼津三島三市博物館共同企画展	レール＆ロード	64	3,276	51
186		12.12	～ H22 2.28		食事を支える道具たち～民具にみるさしすせそ	60	1,037	17
187	H22	3.13	～ 5.16	第48回企画展	富士山縁起の世界 ―赫夜姫・愛鷹・犬飼―	56	5,101	91
188		4.3	～ 6.13	ふるさと村パネル展	いま⇔むかし。　於：広見公園歴史ゾーン	62	-	-
189		5.29	～ 7.4		没後30年　井上恒也展	26	1,079	42
190		7.17	～ 9.26		おうちのどうぐ。	59	1,394	24
191		10.9	～ 12.12	第14回富士沼津三島三市博物館共同企画展	わがまちからの富士山～三市対抗富士自慢	53	1,141	22
192	H23	1.8	～ 2.27		凪～収蔵品展・田澤コレクション	43	1,171	27
193		3.12	～ 5.15	第49回企画展	100年前の世界が見える、日本が見える―六所家旧蔵絵葉書コレクション―	56	3,117	56
194		5.28	～ 7.3		郷土の文人～香峰・麗山・空波～	26	727	28
195		7.16	～ 9.25		包んで扇いで拭いちゃおう！　働き者の紙コレクション	60	1,372	23
196		10.8	～ 12.11		地獄にホトケ～富士市周辺の観心十界図	53	2,792	53
197		10.22	～ 11.27	緊急テーマ展	今、地震や津波を考える　～富士の災害史～	30	-	-
198	H24	1.5	～ 2.26		富士山東泉院の秘宝～六所家総合調査速報展②～	45	1,865	41
199		3.10	～ 5.13	第50回企画展	チョット変だよ！富士市の古墳	55	4,341	79
200		5.26	～ 7.1		講～人と人とを結ぶもの～	26	786	30
201		7.14	～ 9.23		うつわのうつりかわり	60	1,282	21
202		10.6	～ 12.24	第51回企画展	富士市にまつわる物語絵	68	1,421	21
203	H25	1.12	～ 4.7		館蔵品展　あそび・まなび・こどもの生活	71	3,105	44
204		4.13	～ 6.16	第52回企画展	縄文の美～土器の文様と飾り～	57	2,661	47
205		7.6	～ 9.29	富士山世界文化遺産登録記念特別展	鳥の目で見た富士～鳥瞰図の世界～	71	3,008	42
206		10.12	～ 12.22	富士山世界文化遺産登録記念テーマ展	富士山東泉院と富士山信仰	60	1,177	20
207	H26	1.5	～ 1.13		ザ・ロープ伊豆第11回帆船模型展（ザ・ロープ伊豆主催）	8	317	40
208		1.25	～ 4.6	富士山世界文化遺産登録記念テーマ展	富士山名品展	60	1,842	31
209		4.19	～ 6.22	春のテーマ展	富士山×絵葉書～平川コレクションにみる富士の姿～	55	3,263	59
210		7.12	～ 10.13	第53回企画展	富士山の下に灰を雨らす～富士の噴火と古墳時代後期の幕開け～	78	2,019	26
211		9.8	～ 9.15	富士沼津三島三市博物館共同企画巡回パネル展	災害を識る。文化財を守る。～東日本大震災文化財レスキューの活動をとおして～	9	205	23
212		11.1	～ H27 1.25	テーマ展	戦国時代を生きのびた寺院・富士山東泉院―六所家総合調査速報展―	63	1,395	22
213	H27	2.14	～ 5.17	テーマ展	リニューアル前最終展示 富士市立博物館30年のあゆみとこれから	92	4,519	57
214		2.21	～ 3.1	富士山の日協賛事業	富士山古写真展	8	133	17
215		7.18	～ H28 3.31	出張展示	富士かぐやモバイルミュージアム 富士川楽座、②・⑦ｽﾃｰｼｮﾝﾌﾟﾗｻﾞ FUJI、③ｱﾋﾟﾀ富士吉原店、④吉原商店街、⑤富士市立中央図書館、⑥ﾛﾋﾞｼﾞｮﾀｰ、⑧富士市教育ﾌﾟﾗｻﾞ	126	41,016	326
216	H28	4.29	～ 5.8	リニューアルオープン記念展	答礼人形「富士山三保子」里帰り展　於：展示室6	9	7,617	846
217		4.29	～ 6.16	リニューアルオープン記念展	富士のある風景　於：展示室5	45	15,566	346
218		4.29	～ 6.26		徳力富吉郎版画展　於：展示室2	51	16,276	319
219		5.10	～ 10.4		和紙人形　ふじの竹取物語　於：展示室6	126	22,517	178
220		7.1	～ 10.9		明治35年　富士登山写真展　於：展示室2	86	14,173	164
221		7.2	～ 9.25	テーマ展	富士へとつながる海の道―吉原ミナトの交通史― 於：展示室5	74	12,602	170
222		10.8	～ 12.4	市制50周年記念展	知命～富士市の50年～　於：展示室5・6	48	9,036	188
223		10.15	～ 12.25		浮世絵からみた曽我物語　於：展示室2	60	10,330	172
224		11.11	～ 12.11	静岡県埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ巡回展	しずおかの遺跡　にし・ひがし～近年の発掘成果から～ 於：展示室6	26	6,614	254
225		12.17	～ H29 2.26	第15回富士沼津三島三市博物館共同企画展	駿東・北伊豆の戦国時代　於：展示室5	53	8,759	165
226		12.23	～ H29 2.26		野田好子作品寄贈記念展　於：展示室6	48	8,222	171
227	H29	1.4	～ 3.26		新春展示　岡田紅陽が見た富士山　於：展示室2	67	11,,528	172
228		3.11	～ 5.21	第54回企画展	東洋美術史の父　大村西崖　於：展示室5・6	63	15,416	245
229		4.8	～ 5.28		浮世絵にみる富士の巻狩　於：展示室2	45	11,642	259
230		6.3	～ 8.27	リニューアルオープン1周年記念展	富士登山列伝　頂に挑むということ　於：展示室5・6・2	75	9,434	126
231		9.9	～ 10.22	秋のテーマ展	地頭と呼ばれた寺院～江戸時代　東泉院領に生きる”神領百姓”～ 於：展示室5・6	38	5,525	145
232		9.16	～ 12.24		石版画にみる富士の姿　於：展示室2	86	12,762	148
233		11.3	～ 12.3	静岡県立美術館　移動美術展	富士山と静岡ゆかりの画家たち　於：展示室5	27	5,343	198
234		11.3	～ 12.3		富士ゆかりの画家　井上恒也　於：展示室6	27	5,343	198
235		12.16	～ H30 3.4	第55回企画展	産業の種蒔く人―伝法中原4号墳と古代のエンジニアたち 於：展示室5・6	59	8,163	138
236	H30	1.4	～ 3.11		浮世絵で見る　東海道からの富士山　於：展示室2	54	8,691	161
237		3.17	～ 5.2	春のテーマ展	オフダに込められた祈りのカタチ　於：展示室5・6	56	16,543	295
238		3.17	～ 5.2		小山もと子生誕100年記念寄贈品展　於：展示室2	56	16,543	295
239		6.2	～ 7.16	テーマ展	富士を掘る　足もとに眠る 原始・古代の遺跡 於：展示室5・6	38	4,643	122
240		6.2	～ 8.26		富士山登山絵図―富士山ガイドマップ―　於：展示室2	75	10,245	137

	会期				展示会名		日数	入場者数	１日平均
241		7.28	～	10.21	第 16 回富士沼津三島三市博物館共同企画展	幕末・明治の富士・沼津・三島　　産業のまち　富士の幕開け 於：展示室５・６	75	10,794	144
242		9.8	～	11.25		小学校と富士　於：展示室２	67	11,194	167
243		11.3	～	12.9	富士山世界遺産登録５周年記念展	かぐや姫の里と白隠さん―無量禅寺再興に尽力した人々の事跡を訪ねて―　於：展示室５・６	32	5,303	166
244		12.8		2.17		富士と、文学　岳南を舞台とした江戸時代の和本と浮世絵 於：展示室２	57	7,185	126
245		12.22	～ H31	3.10	富士市・富士川町合併 10 周年・富士山世界遺産登録５周年記念展	道具が語る　あの日の住まい―富士のふもとのヒトとモノ― 於：展示室５・６	63	8,153	129
246	H31	3.9	～ R1	5.19		平成に旅立った富士のふもとの巨星たち　於：展示室２	62	9,370	151
247		3.21	～ R1	6.16	第 56 回企画展	富士が見守る交流の道―古代東海道と富士山ジャンクション― 於：展示室５・６	76	14,066	185
248	R1	6.1	～	9.1		古写真にみる明治の富士　於：展示室２	77	8,887	115
249		6.15	～	8.18	静岡県富士山世界遺産ｾﾝﾀｰ・富士山かぐや姫ﾐｭｰｼﾞｱﾑ共催展	富士山の女神　かぐや姫 於：富士山世界遺産センター企画展示室	63	43,208	686
250		6.29	～	9.16	夏のテーマ展	幻の宿場町 中吉原宿展　於：展示室５・６	66	7,996	121
251		9.7	～	12.1		描かれた富士　於：展示室２	67	8,587	128
252		9.28	～	12.15	秋のテーマ展	瑞林寺地蔵菩薩坐像と富士市のお地蔵さま 於：展示室５・６	68	8,487	125
253		12.14	～ R2	2.24		富士山と、描かれた人びとの生業　於：展示室２	57	6,502	114
254	R2	1.4	～	3.8	富士山かぐや姫ﾐｭｰｼﾞｱﾑ×静岡市立登呂博物館　連携企画展・第 57 回企画展	東海の軍を発す―伝法 東平１号墳とヒミツの武器 於：展示室５・６	55	6,447	117
255		3.7	～	5.17		明治の富士ブランド　佐野熊ナプキンと富士山 於：展示室２（4/9 ～ 5/17 臨時休館）	28	3,437	123
256		3.20	～	6.21	春のテーマ展	揺する！富士市のお天王さん 於：展示室５・６（4/9 ～ 5/17 臨時休館）	53	5,676	107
257		5.30	～	8.23		版画の巨匠　徳力富吉郎　冨士三十六景　於：展示室２	69	5,954	86
258		7.11	～	9.6	夏のテーマ展	富士山の女神　かぐや姫　於：展示室５	51	4,679	92
259		9.5	～	12.13		岡田紅陽　富士山写真展　於：展示室２	85	10,888	128
260		9.19	～	10.18	秋のテーマ展 住友財団助成修復記念	富士参詣曼荼羅の世界―松栄寺本を中心に― 於：展示室５	26	3,666	141
261		10.31	～ R3	1.24	第 17 回富士沼津三島三市博物館共同企画展	採る・捕る・獲る―富士・沼津三島の狩猟と採集― 於：展示室５	55	6,379	116
262	R3	1.5	～	3.7		子どもと富士山　於：展示室２	52	5,112	98
263		2.6	～	5.16	春のテーマ展	新収蔵品　富士山コレクション展　於：展示室５	95	14,001	147
264		3.20	～	6.13		鳥瞰図に見る富士　於：展示室２	73	11,616	159

(2)　刊行物一覧

	名称	価格	判型	内容
第 2 回企画展	紙のあゆみ	200 円	B5 判 20 頁	紙の起源にさかのぼり、人と紙とのかかわりや紙の文化史について解説。
第 1 回特別展	仏像の源流	100 円	B5 判 12 頁	仏像の、成立・発展の過程及び我国の仏教芸術への影響を解説。
第 3 回企画展	富士市の沿岸漁業	200 円	B5 判 24 頁	富士市の漁業を、自然との関わり、漁法、漁具、漁民の習俗等から解説。
第 4 回企画展	手漉きのせかい	300 円	B5 判 24 頁	製紙の原点である手漉和紙の、技法の歴史・原料・製作工程の詳細を解説。
第 2 回特別展	街道と宿場	300 円	B5 判 23 頁	吉原宿所替 300 年を記念し、近世の交通を視点に、宿駅の様子を解説。
第 5 回企画展	山の仕事とくらし ー富士・愛鷹山麓を中心にー	300 円	B5 判 25 頁	富士の裾野にくらす人々の生活を、山の開拓史、植林等を通じて解説。
第 6 回企画展	紙の衣料	200 円	B5 判 14 頁	紙の特性を生かした利用法、「紙の衣料」の歴史・種類・作り方等を解説。
第 3 回特別展	東海のやきもの	400 円	B5 判 33 頁	瀬戸をはじめ、東海地方の特色ある焼物によって、窯業の歴史を解説。
第 7 回企画展	三新田遺跡	600 円	B5 判 22 頁	特殊な砂丘への立地、集落の性格、律令駅伝制の宿駅との繋がりを考察。
第 8 回企画展	きんからわし	100 円	B5 判 8 頁	金唐革紙の復元にいどむ後藤清吉郎氏とその作品を紹介。
第 9 回企画展	浮島沼と米づくり	400 円	B5 判 46 頁	厳しい自然条件下での米作りの苦闘を、開拓史・人々の生活から考察。
第 10 回企画展	富士の古墳文化	500 円	B5 判 54 頁	市内約 600 基の古墳からの出土品等より、古墳時代の生活文化を考察。
第 11 回企画展	紙のおもちゃ	400 円	B5 判 32 頁	紙が子供のおもちゃとしていかに深くかかわり、役立ってきたかを考察。
第 12 回企画展	浮世絵に描かれた郷土	500 円	B5 判 44 頁	江戸～明治初期の郷土に関わる浮世絵より、風景・風俗等の変化を解説。
第 14 回企画展	折り紙	400 円	B5 判 19 頁	折り紙の歴史や伝承を紹介しながら、その造形、特性、役割を考察。
新市 20 周年記念展	写真に見る富士の今昔	500 円	B5 判 56 頁	新富士市合併 20 周年に際し、郷土の移り変わりを貴重な写真で紹介。
第 15 回企画展	版画・浮世絵に描かれた富士 　徳力富吉郎　葛飾北斎	100 円	B5 判 8 頁	徳力富吉郎、葛飾北斎等の作品より、風景・生活・歴史等の変化の様を解説。
第 16 回企画展	郷土の俳人	600 円	B5 判 76 頁	主要俳人の郷土への足跡、市内の句額・短冊より、俳句の流れを概観。
第 17 回企画展	富士市の埋蔵文化財 富士市のあけぼの	600 円	B5 判 43 頁	市内の埋蔵文化財発掘資料より、原始・古代の歴史、生活の営みを考察。
富士文庫寄贈図書展	富士文庫目録	50 円	B5 判 22 頁	富士文庫から一括寄贈された資料より、92 点・362 冊の展示目録。
第 18 回企画展	郷土ゆかりの武者絵	400 円	B5 判 18 頁	郷土の史実を描き、広く知られている歴史画の浮世絵を紹介。
第 19 回企画展	あかりとくらし	500 円	B5 判 36 頁	時代の変遷の中、様々な照明具を紹介しながらあかりの文化史を考察。
第 20 回企画展	富士川水系の手漉和紙	600 円	B5 判 56 頁	駿河半紙に代表される、富士川水系の和紙の起源や特徴を解説。
第 4 回特別展	井上恒也展	800 円	B5 判 55 頁	郷土出身の近代日本画家、井上恒也の代表的花鳥画を紹介。
第 21 回企画展	くらしの中の着物	500 円	B5 判 50 頁	着物を通じ、人生の節目や日常生活の知恵等を考察。
第 22 回企画展・開館 10 周年記念	曽我物語	400 円	B5 判 32 頁	曽我兄弟に縁深い史跡・伝承より、郷土の歴史・曽我物語の魅力を解説。
第 23 回企画展	富士市の製紙業	600 円	B5 判 120 頁	駿河半紙の生産地移動に始まる、富士市の製紙業の歴史と変遷を解説。
小企画展	古地図	200 円	B5 判 16 頁	絵図のいろいろを集め、その歴史をたどる。
第 24 回企画展	大むかしの技術～石器とくらし～	100 円	B5 判 26 頁	石器を使って生活を守った大昔の人々の技術を考察。
第 25 回企画展	はかる道具のいろいろ	400 円	B5 判 56 頁	はかる道具について、先人の知恵と工夫を歴史の歩みとともに解説。
第 26 回企画展	むかしの旅・いまの旅	300 円	B5 判 24 頁	江戸時代の庶民・大名・武士の旅と今の旅を比較し、その違いを考察。
第 27 回企画展	水とくらし	500 円	B5 判 51 頁	市内の、水が豊富な地域と水不足に悩む地域との暮らしの違いを解説。
第 28 回企画展	おもちゃ文化史	400 円	B5 判 32 頁	おもちゃを通じて、時代の推移・先人の知恵や工夫を考察。
第 30 回企画展	富士山信仰と富士塚	500 円	A4 判 26 頁	神の山富士の信仰から、富士講の始まり、富士塚の築造を解説。
第 31 回企画展	お母さんの小さな歴史 ～女性の通過儀礼～	400 円	A4 判 25 頁	女性が様々な通過儀礼を経て、主婦となるまでの過程を考察。
第 32 回企画展	浮島沼～開拓のあゆみと農民の苦闘～	400 円	A4 判 45 頁	人々の、沼の水との苦闘・災害に立ち向かう行動を、史料によって紹介。
第 33 回企画展	郷土と酒～富士の麓の酒物語～	500 円	A4 判 34 頁	かつて東海道名物としても知られた富士の麓の酒造りを紹介。
第 34 回企画展	富士川の舟運	500 円	A4 判 35 頁	富士川舟運が果たした役割、富士川と共に生きた人々の生活にふれる。
第 35 回企画展	夢を紡いだ時代 ー旧富士郡下の養蚕業とその周辺	200 円	A4 判 19 頁	横浜開港後、県内有数の蚕糸生産地帯となった旧富士郡下の動静。
第 36 回企画展	うまれかわる紙	300 円	A4 判 27 頁	古紙の有効利用、産業廃棄物の削減への取り組みと消費者の役割。
第 37 回企画展	加島 米と水 ～富士川下流の米づくり～	600 円	A4 判 56 頁	タバショと呼ばれた米どころ、加島平野の発展の経緯と米作りの展開。
	人穴浅間神社の碑塔と拓影	850 円	A4 判 77 頁	人穴碑塔群の拓本採択の概要と、主要な碑塔の拓本及び碑文を掲載。
	富士塚調査報告書	2,400 円	A4 判 192 頁	1 都 9 県を対象とした富士山信仰と富士塚の現状に関する調査報告書。
	わ！しってる？和紙のこと	100 円	A4 判 15 頁	手漉和紙の体験学習用テキスト。
第 38 回企画展	富士がゆれた時～宝永の富士山噴火と安政の大地震～	600 円	A4 判 32 頁	宝永 4 年の富士山噴火、安政東海大地震の被災状況や復旧の様子を検証。
館蔵品展	駿河の大地主松永家の百年	200 円	A4 判 13 頁	明治・大正時代を通し県内屈指の大地主であった松永家縁の品々を紹介。
第 39 回企画展	幕末の問屋役　吉原宿の鈴木香峰	1,000 円	A4 判 60 頁	幕末の吉原宿の様子を、脇本陣鈴木家当主・香峰の人と作品より辿る。
第 40 回企画展	刻・刷・伝～紙と印刷をめぐって～	700 円	A4 判 41 頁	印刷に関わる歴史、印刷事業で培われた文化や営みを紹介。
第 41 回企画展	おしゃれな原始・古代人	300 円	A4 判 20 頁	縄文～古代のアクセサリーを集め、当時の人々の美意識や技術を紹介。
第 42 回企画展	いのりとまじないの世界	300 円	A4 判 38 頁	県内の郡衙や古代寺院関連資料を紹介。
日露友好 150 周年記念特別展	ディアナ号の軌跡～日露友好の幕開け～	400 円	A4 判 50 頁	日本にもう一つの開国をもたらしたロシア船『ディアナ』の軌跡を辿る。
第 43 回企画展	描かれた富士のふもと	400 円	A4 判 40 頁	富士市域の景観の移り変わりを絵図・地形図などから辿る。
第 44 回企画展	人とともに生きる植物①　富士の茶	400 円	A4 判 40 頁	富士における茶業のはじまりと発展について紹介。
市制 40 周年記念特別展	富士山ゆかりの名品展～富士を語る・敬う・形どる	500 円	A4 判 68 頁	富士山ゆかりの美術・工芸品等を紹介。
第 45 回企画展	村絵図を歩く	400 円	A4 判 44 頁	富士市域の村絵図を村明細帳とともに紹介。
第 46 回企画展	富士山麓に生きる～大淵のくらしと稲垣家	400 円	A4 判 60 頁	大淵の自然・歴史・くらしを紹介。
第 47 回企画展	富士川を渡る歴史	400 円	A4 判 56 頁	急流で名高い富士川を渡るためにさまざまに工夫された歴史を紹介。
第 48 回企画展	富士山縁起の世界ー赫夜姫・愛鷹・犬飼ー	800 円	A4 判 104 頁	富士山信仰に関わる寺社の縁起書「富士山縁起」の世界を紹介。
第 49 回企画展	100 年前の世界が見える、日本が見える ～六所家旧蔵絵葉書コレクション～	1,000 円	A4 判 211 頁	六所家旧蔵の絵葉書の中から様々なジャンルの絵葉書を紹介。
第 50 回企画展	チョット変だよ！富士市の古墳	400 円	A4 判 54 頁	富士市と他地域の違いを中心に市内の古墳の特徴を紹介。

	名称	価格	判型	内容
	富士山の神様―かぐやひめ―	500 円	A4 判 24 頁	六所家旧蔵資料「富士山大縁起」に登場する赫夜姫説話を絵本にして紹介。
第 51 回企画展	富士市にまつわる物語絵	300 円	A4 判 35 頁	「竹取物語」、「平家物語」、「曽我物語」などの浮世絵を中心に紹介。
第 52 回企画展	縄文の美～土器の文様と飾り～	200 円	A4 判 16 頁	富士市内をはじめ静岡県・山梨県の縄文土器からその文様の多様性を紹介。
富士山世界文化遺産登録記念特別展	鳥の目で見た富士～鳥瞰図の世界～	300 円	A4 ヨコ判 30 頁	富士山を描いたさまざまな鳥瞰図を紹介。
第 53 回企画展	富士山の下に灰を雨らす　富士の噴火と古墳時代後期の幕開け	400 円	A4 判 43 頁	「大渕スコリア」降下前後の富士山周辺の古墳時代を紹介。
富士山かぐや姫ミュージアムオープン記念展	富士のある風景	100 円	A5 変形判 35 頁	リニューアルオープン記念展。さまざまな富士山絵画を紹介。
第 54 回企画展	東洋美術史の父　大村西崖	500 円	A4 判 60 頁	現富士市水戸島出身の大村西崖。著作活動に関する資料や、地元に伝えられた資料を紹介。
リニューアル 1 周年記念展	富士登山列伝　頂に挑むということ	200 円	A5 変形判 32 頁	富士山の登山史に名を残した人物たちの姿から、頂に挑むということの意味を探る。
	富士山かぐや姫ミュージアム常設展示総合ガイドブック	300 円	A5 変形判 92 頁	リニューアルした常設展示の内容をコンパクトに紹介。
第 55 回企画展	産業の種蒔く人―伝法中原 4 号墳と古代のエンジニアたち	200 円	A5 変形判 20 頁	2017 年に富士市指定文化財となった中原 4 号墳の出土品を紹介。
富士山世界遺産登録 5 周年記念展	かくやひめの里と白隠さん―無量禅寺再興に尽力した人々の事跡を訪ねて	300 円	A4 判 21 頁	臨済宗中興の祖白隠彗鶴と、現在の竹採公園にかつてあった無量寺などについて紹介。
第 56 回企画展	富士が見守る交流の道―古代東海道と富士山ジャンクション―	300 円	A5 変形判 38 頁	古代東海道周辺の関連遺跡の紹介とともに、富士山周辺が、東山道と東海道の結節点「富士山ジャンクション」として機能した可能性を探る。
第 57 回企画展・静岡市登呂博物館連携企画展	東海の軍を発す―伝法　東平 1 号墳とヒミツの武器	300 円	A5 変形判 30 頁	「丁字形利器」を手がかりに、勇壮な武人であった東平 1 号墳の主が地域社会に与えた影響を考える。
	六所家総合調査報告書　民俗	1,000 円	A4 判 112 頁	
	六所家総合調査報告書　古文書①	1,500 円	A4 判 184 頁	
	六所家総合調査報告書　埋蔵文化財	1,400 円	A4 判 100 頁	
	六所家総合調査報告書　建造物・庭園	1,400 円	A4 判 93 頁	
	六所家総合調査報告書　聖教	5,000 円	A4 判 461 頁	
	六所家総合調査報告書　書画	1,000 円	A4 判 113 頁	
	六所家総合調査報告書　埋蔵文化財②	1,000 円	A4 判 81 頁	
	六所家総合調査報告書　古文書②	2,500 円	A4 判 504 頁	
	六所家総合調査報告書　古文書③	2,500 円	A4 判 504 頁	
	六所家総合調査だより 特別号　護持院隆光と東泉院精海	100 円	A4 判 32 頁	
	六所家総合調査だより 特別号②　東泉院の神道資料	200 円	A4 判 37 頁	
	富士山東泉院の歴史	1,000 円	A4 判 127 頁	
	富士市立博物館概要	無料	B5 判 28 頁	
	富士市立博物館常設展解説 富士に生きる－紙のまちの歴史と文化－	無料	B5 判 96 頁	
	要覧　昭和 63 年度～平成 7 年度	無料		
	年報　第 1 号～第 10 号 (昭和 56 年度～平成 6 年度)	無料		
	館報　平成 7 年度～令和元年度	無料		
	博物館だより　No.1 ～ No.77	無料		
	六所家総合調査だより　No.1 ～ No.14	無料		

利用案内

＜富士山かぐや姫ミュージアム（富士市立博物館）＞

◇所 在 地　〒 417-0061 静岡県富士市伝法 66 番地の 2　TEL 0545-21-3380　FAX 0545-21-3398
◇開館時間　夏期（4 月～ 10 月）9:00 ～ 17:00　／　冬期（11 月～ 3 月）9:00 ～ 16:30
◇休 館 日　月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、年末年始
◇観 覧 料　無料
◇交　　通　Ｊ Ｒ 線：ＪＲ東海道本線富士駅・吉原駅、東海道新幹線新富士駅から車で 20 分
路線バス：吉原中央駅③番線で乗車、「広見団地入口」下車、徒歩 3 分
高速バス：富士 IC「東名富士」下車、徒歩 20 分
車　：西富士道路「大淵・広見インター」降りて東へ 1 分、駐車場あり

＜富士市立歴史民俗資料館（博物館分館）＞

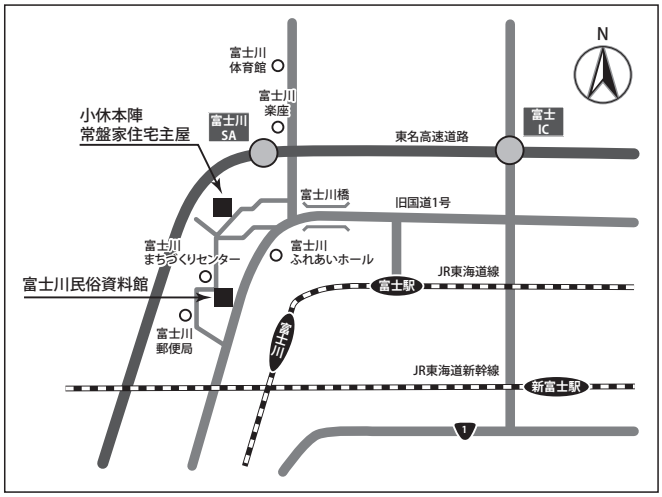
◇所 在 地　〒 417-0061 静岡県富士市伝法 86 番地の 7　TEL･FAX は博物館に同じ
博物館より北へ徒歩 3 分　＊広見公園歴史ゾーン (博物館に隣接) に屋外展示
◇開館時間・休館日・お問い合わせ先は博物館に同じ
◇観 覧 料　無料

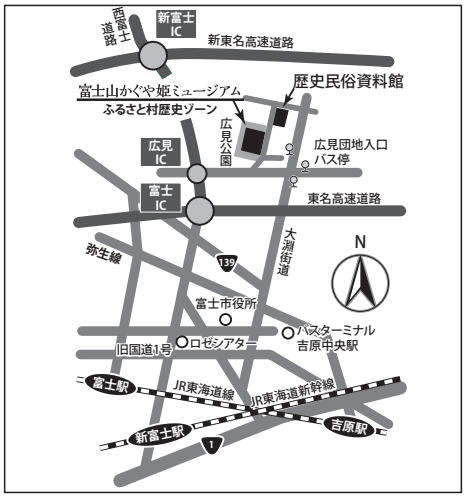
＜富士市立富士川民俗資料館／稲葉家住宅（博物館分館）＞

◇所 在 地　〒 421-3305 静岡県富士市岩淵 8 - 1　TEL･FAX は博物館に同じ
◇開 館 日　土･日･祝日（開館時間は博物館と同じ）　※団体から御予約があれば、平日も開館いたします。
◇観 覧 料　無料
◇お問い合わせ先は博物館に同じ
◇交　　通　Ｊ Ｒ 線：ＪＲ東海道本線富士川駅から徒歩 15 分
高速バス：東名富士川 SA「東名富士川」下車、徒歩 15 分
車　：東名高速道路富士 IC 降りて南西へ約 30 分、または、東名富士川 SA スマート IC 降りて南西へ 2 分、駐車場あり

＜小休本陣常盤家住宅主屋（国登録有形文化財）＞

◇所 在 地　〒 421-3305 静岡県富士市岩淵 455　TEL･FAX は博物館に同じ
◇開 館 日　土･日･祝日（開館時間は 9:00 ～ 16:00）　※団体から御予約があれば、平日も開館いたします。
◇観 覧 料　無料
◇お問い合わせ先は博物館に同じ
◇交　　通　Ｊ Ｒ 線：ＪＲ東海道本線富士川駅から徒歩 20 分
高速バス：東名富士川 SA「東名富士川」下車、徒歩 10 分
車　：駐車場がございませんので車での御来場は御遠慮願います。





令和２年度　博物館職員

館長（学芸員・考古）	木ノ内義昭
統括主幹	齋藤俊之
主幹（学芸員・美術）	高林晶子
主幹（学芸員・歴史）	瀧浪和美
上席主事（学芸員・民俗）	秋山裕貴
主事補（学芸員・考古）	成瀬陽介
会計年度任用職員（調査員）	佐野あき沙
会計年度任用職員（指導員）	久保田英聖
会計年度任用職員（管理員）	谷口圭子
会計年度任用職員（事務補助）	土屋麻由美
会計年度任用職員（博物館学習指導員）	内田昌宏

富士山かぐや姫ミュージアム　館報

第 36 号（令和 2 年度）

編集・発行　富士山かぐや姫ミュージアム（富士市立博物館）

〒 417-0061　静岡県富士市伝法 66 － 2

TEL　0545(21)3380

FAX　0545(21)3398

E-mail：museum@div.city.fuji.shizuoka.jp

URL:https://museum.city.fuji.shizuoka.jp

発行日　令和３年８月 31 日

印刷　富士市

Annual Report

vol.36 / 2020

The Annual Report of The Mt.Fuji and Princess Kaguya Museum in Fuji city,Shizuoka,Japan

August,2021

Mt.Fuji and Princess Kaguya Museum

Administrative document registration number of Fuji city R3-16